

第2章 調査結果

第2章 調査結果

男女平等に関する意識について

問1 あなたは、次の①～⑧において、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(各項目1つだけ選択)

	男性の方が 優遇されて いる	どちらか といえば男性 の方が優遇 されている	平等になっ ている	どちらか といえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる
①家庭生活の中で	1	2	3	4	5
②職場の中で	1	2	3	4	5
③学校教育の場で	1	2	3	4	5
④地域活動・社会活動の場で	1	2	3	4	5
⑤政治や政策方針決定の場で	1	2	3	4	5
⑥法律や制度の上で	1	2	3	4	5
⑦社会通念・慣習・しきたりなど で	1	2	3	4	5
⑧社会全体の中で	1	2	3	4	5

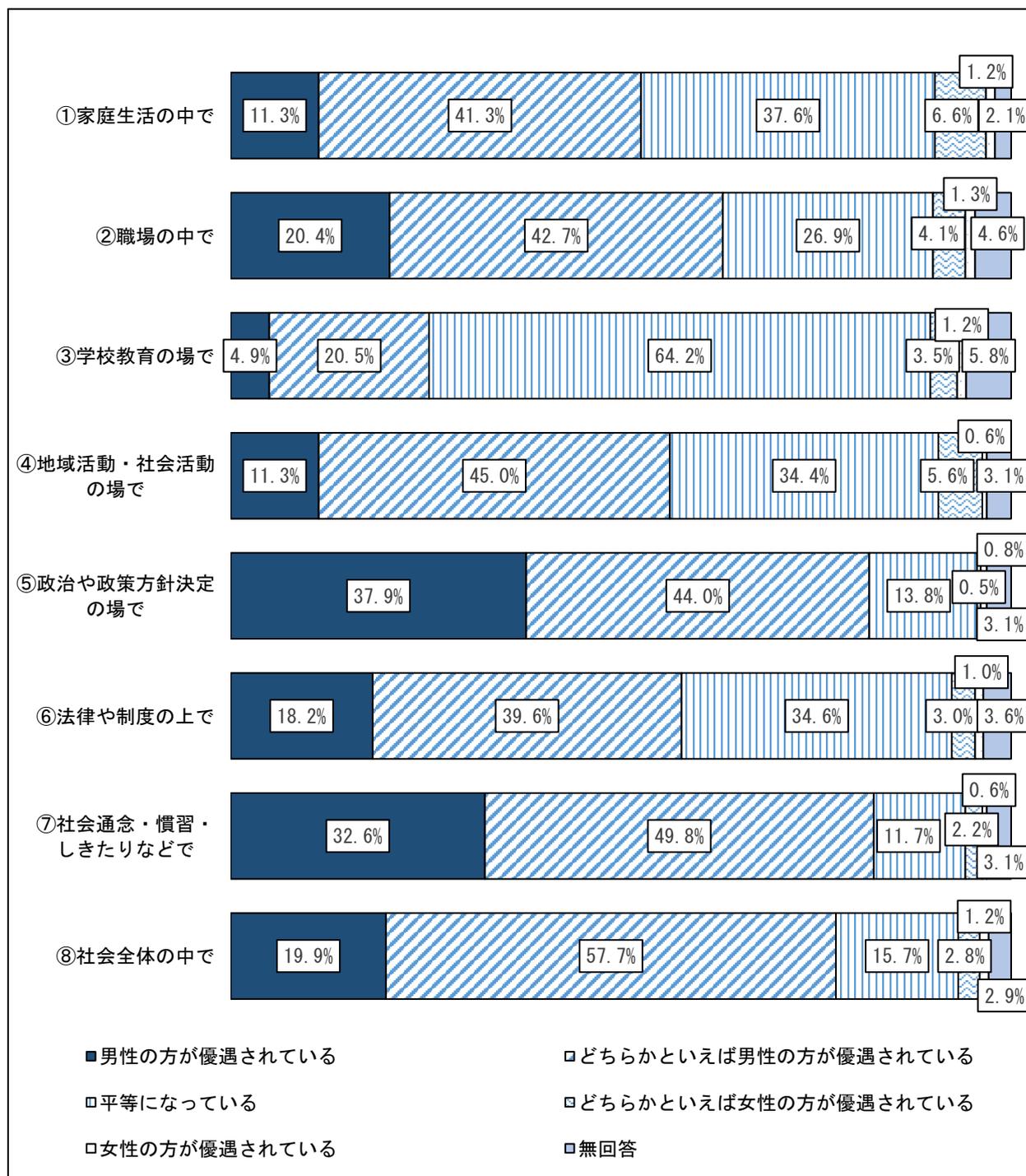
「平等になっている」の回答が最も多かったのは「③学校教育の場で」の64.2%

全体で「平等になっている」との回答が最も多かったのは、「③学校教育の場で」64.2%でした。また、最も少なかったのは「⑦社会通念・慣習・しきたりなどで」11.7%でした。性別ごとの回答でも同様となっています。

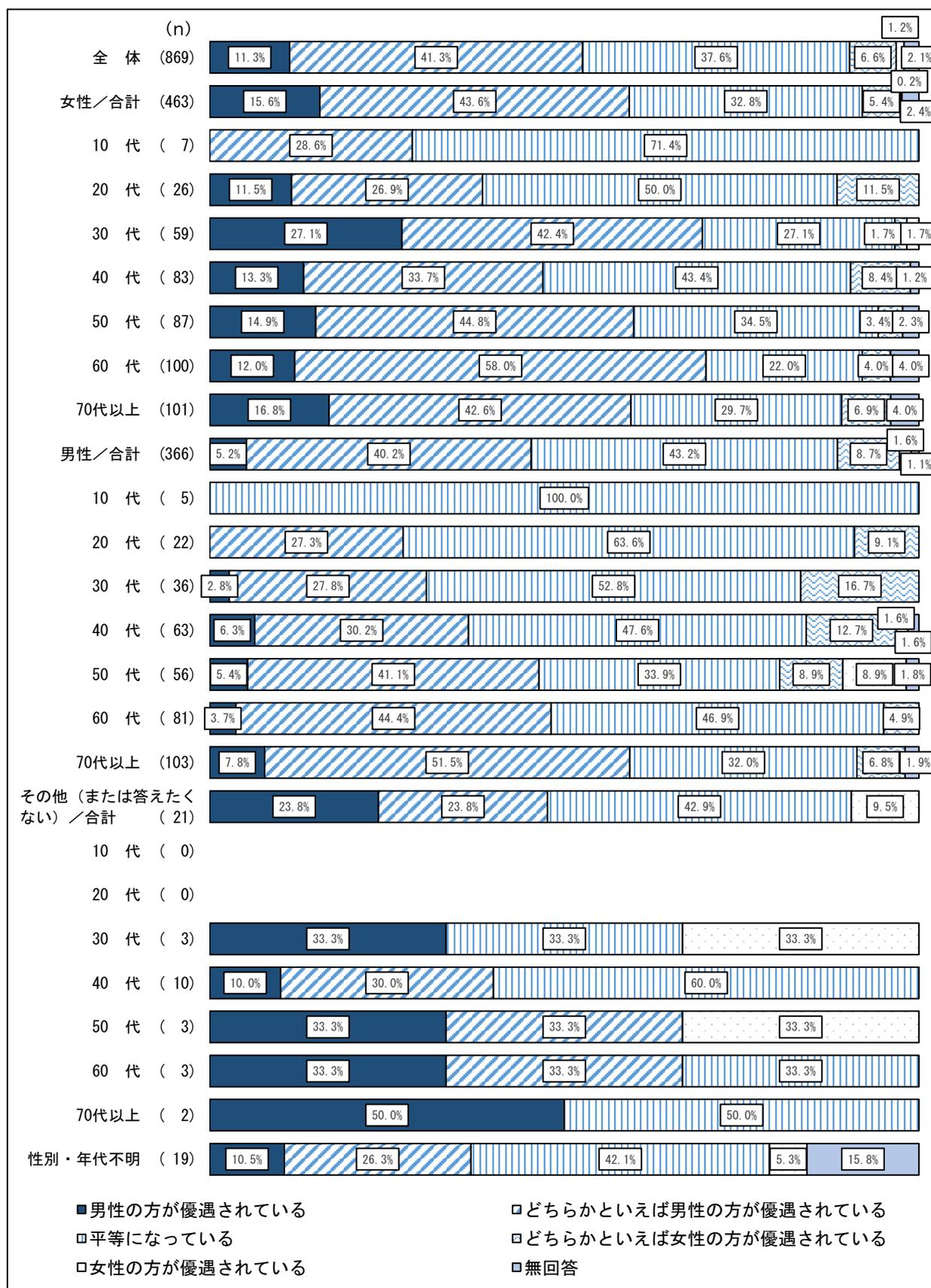
項目別に見ると「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計が最も多かったのは、「⑦社会通念・慣習・しきたりなどで」ですが、性・年代別では、男性の20代、30代では「平等になっている」との回答が25%を超えています。

性・年代別で見ると、「①家庭生活の中で」では、20代から70代以上の女性が「男性の方が優遇されている」と回答している割合が多く、女性の方が男性より10.4ポイント上回っています。また、「⑦社会通念・慣習・しきたりなどで」で「男性の方が優遇されている」と回答した30代の女性と男性では、女性の方が27.5ポイント上回っています。

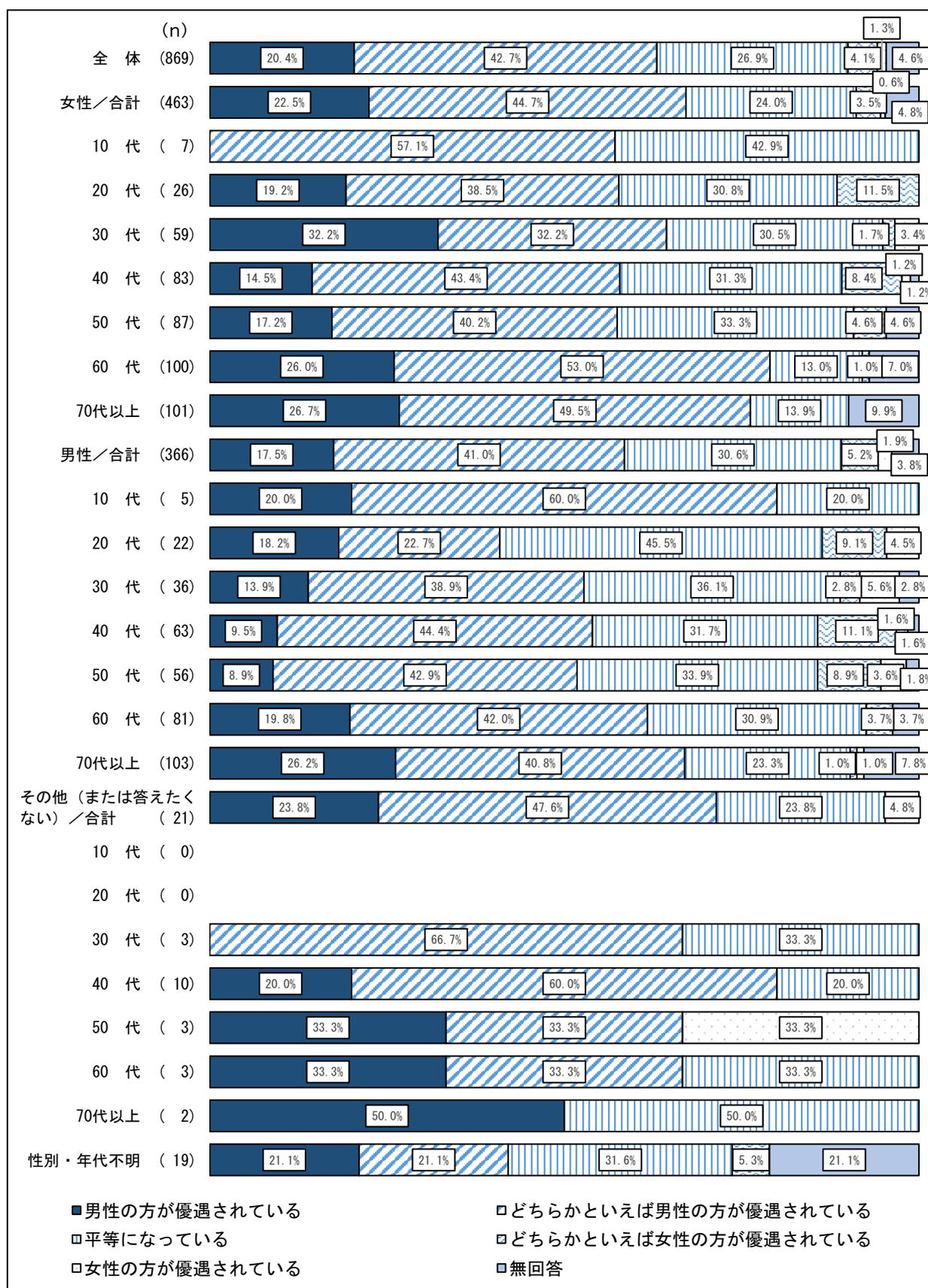
【全体】 n=869



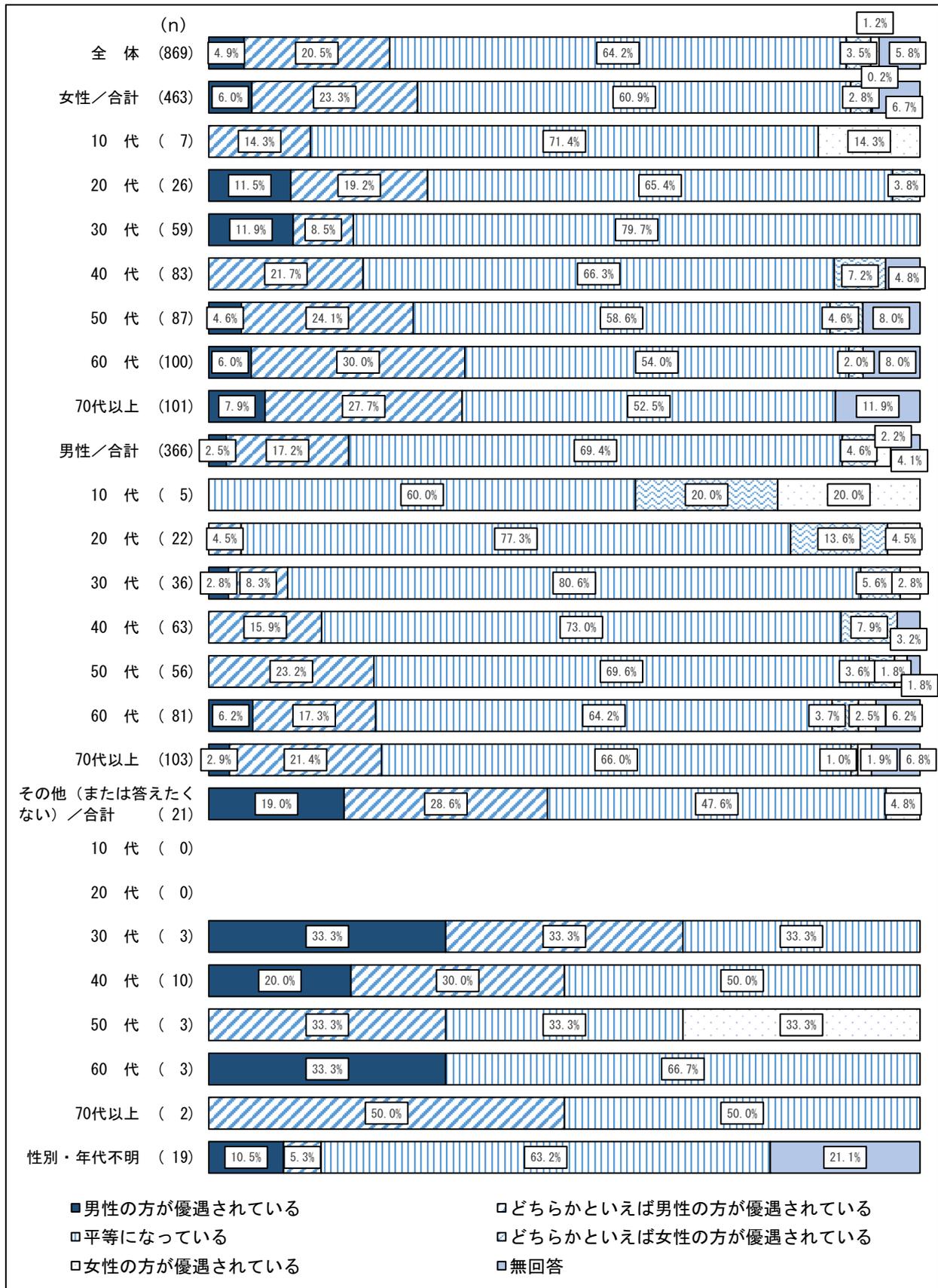
【性・年代別】①家庭生活の中で



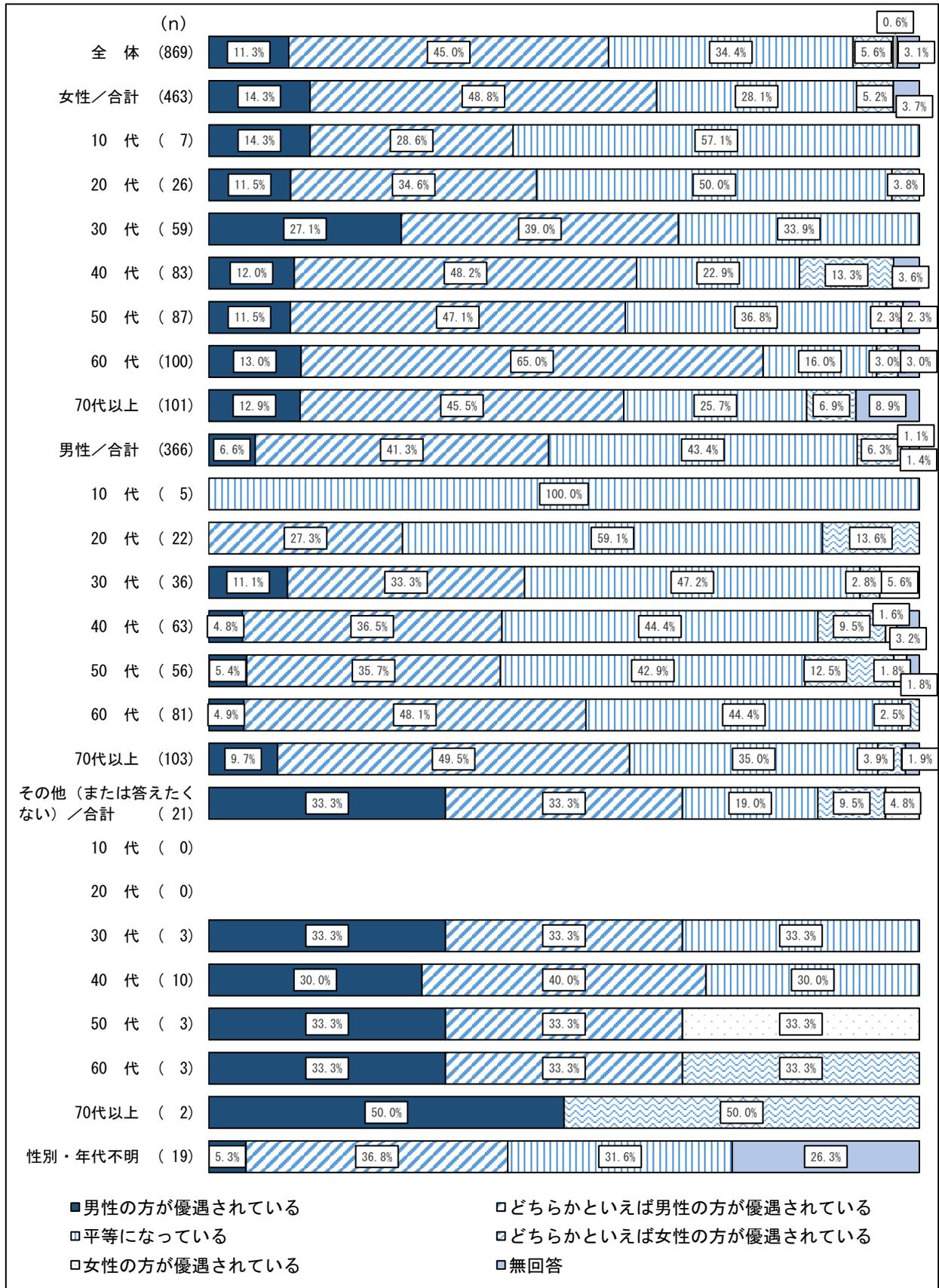
【性・年代別】②職場の中で



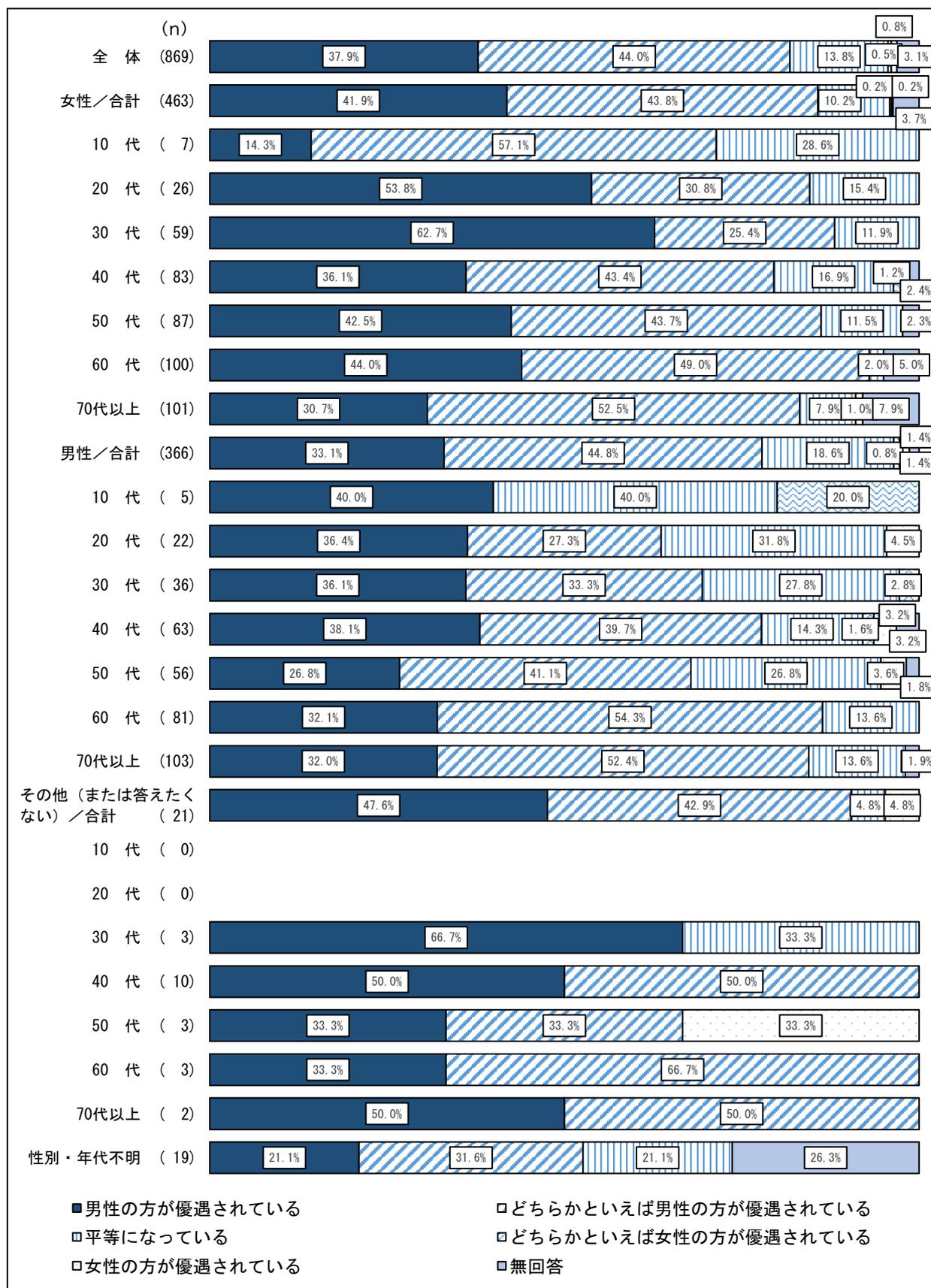
【性・年代別】③学校教育の場で



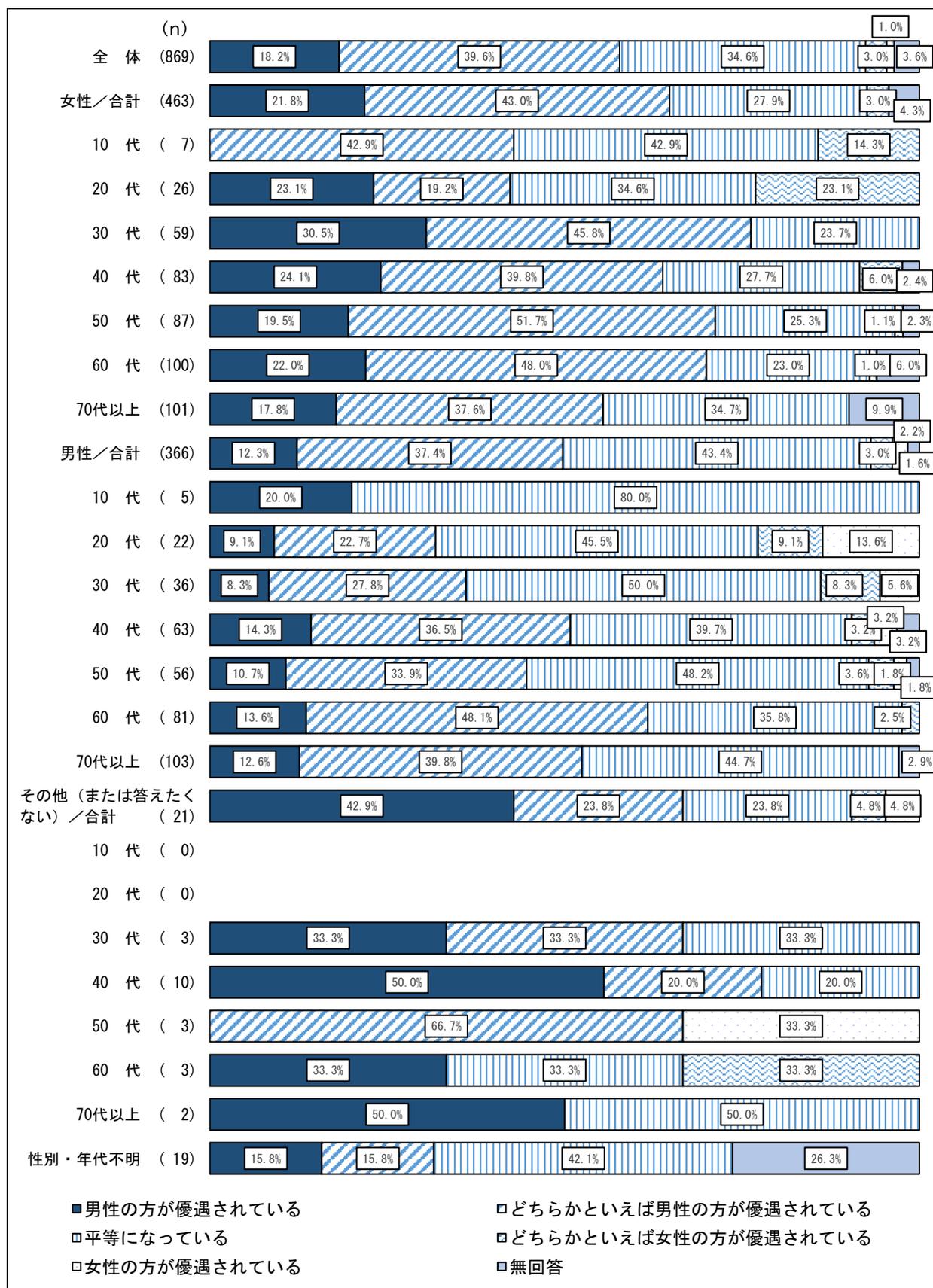
【性・年代別】④地域活動・社会活動の場で



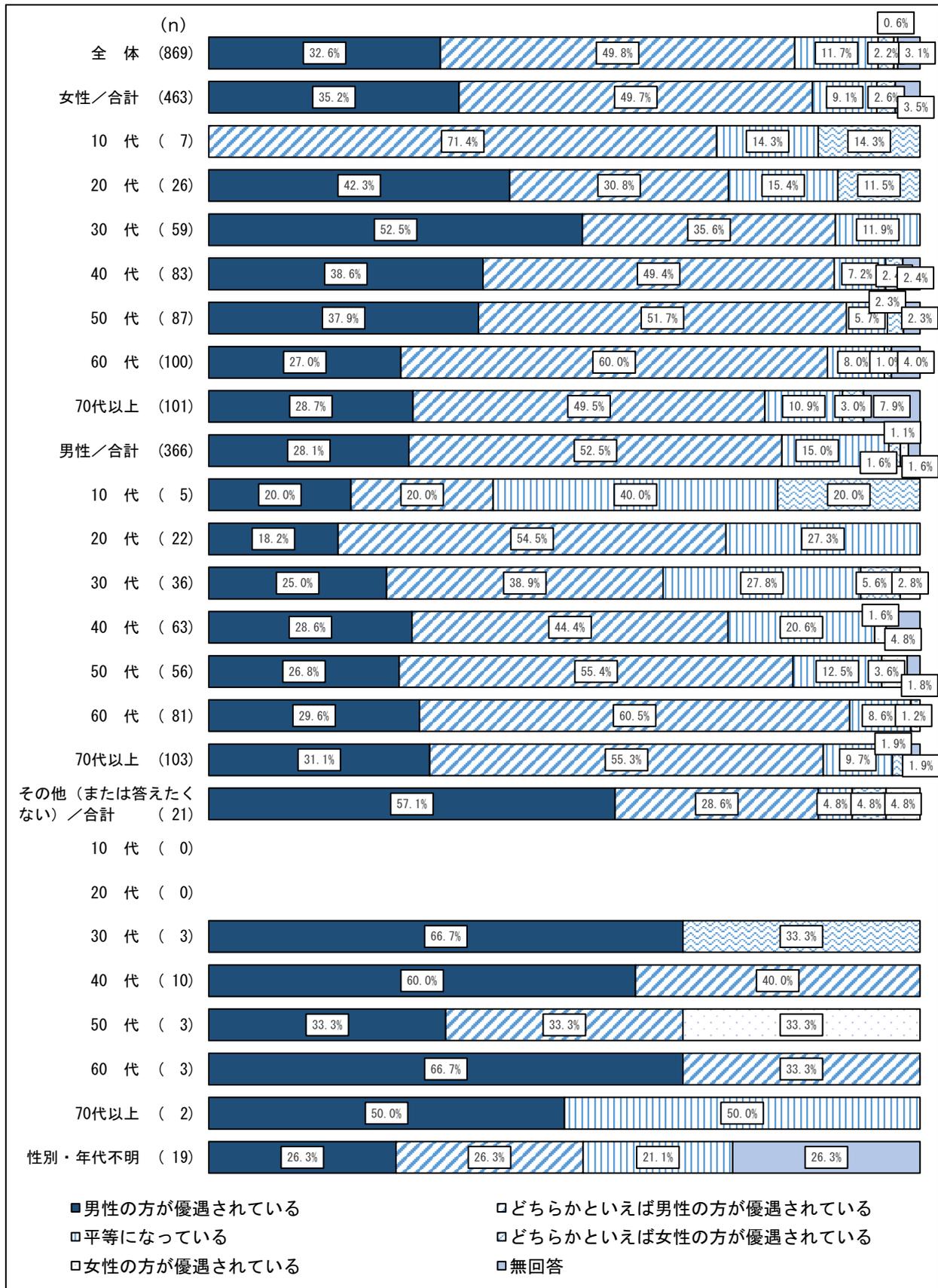
【性・年代別】⑤政治や政策方針決定の場で



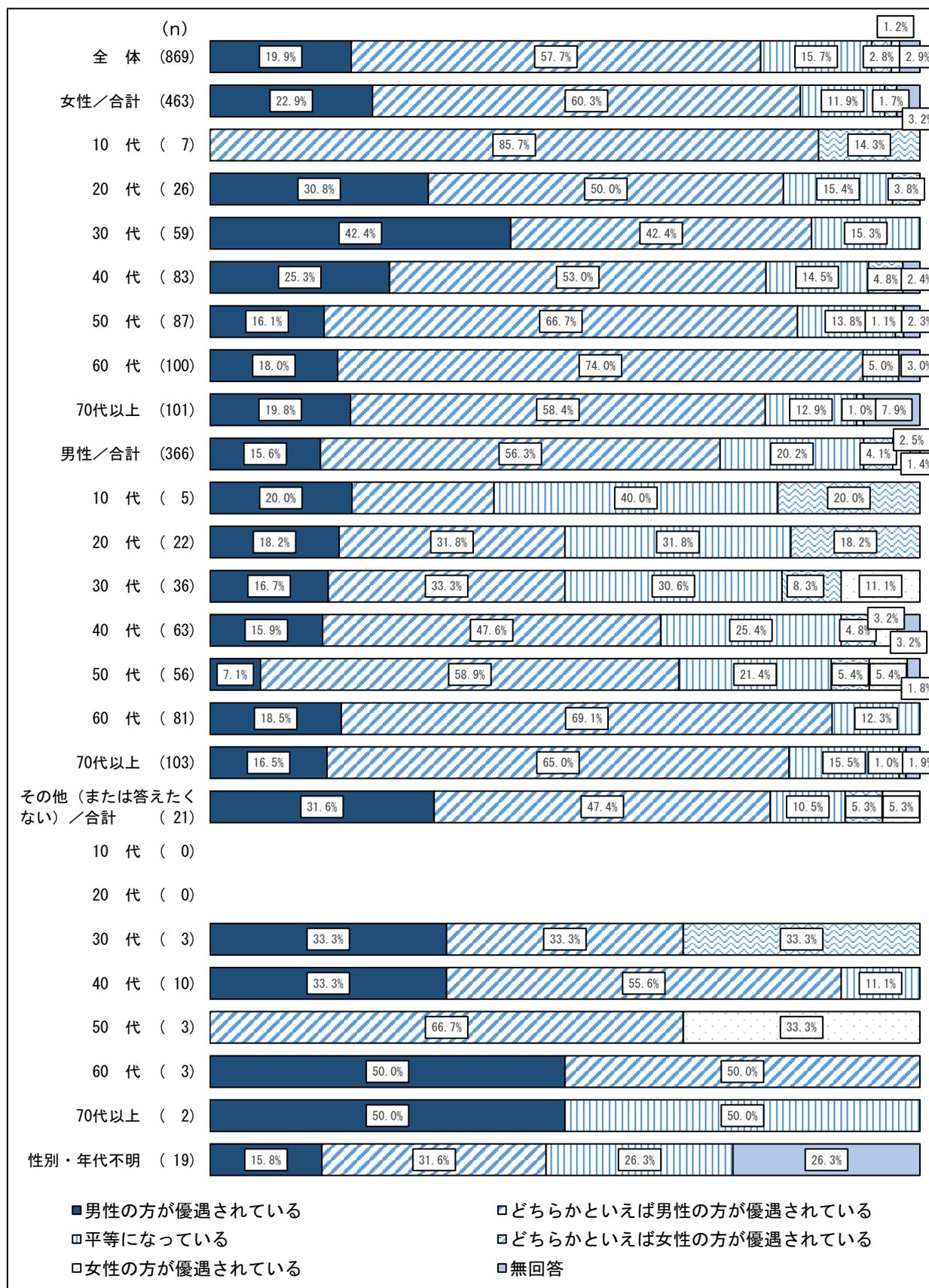
【性・年代別】⑥法律や制度の上で



【性・年代別】⑦社会通念・慣習・しきたりなどで



【性・年代別】⑧社会全体の中で



男女平等に関する意識について

問2 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。
(1つだけ選択)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 賛成 | 4. 反対 |
| 2. どちらかといえば賛成 | 5. わからない(どちらともいえない) |
| 3. どちらかといえば反対 | |

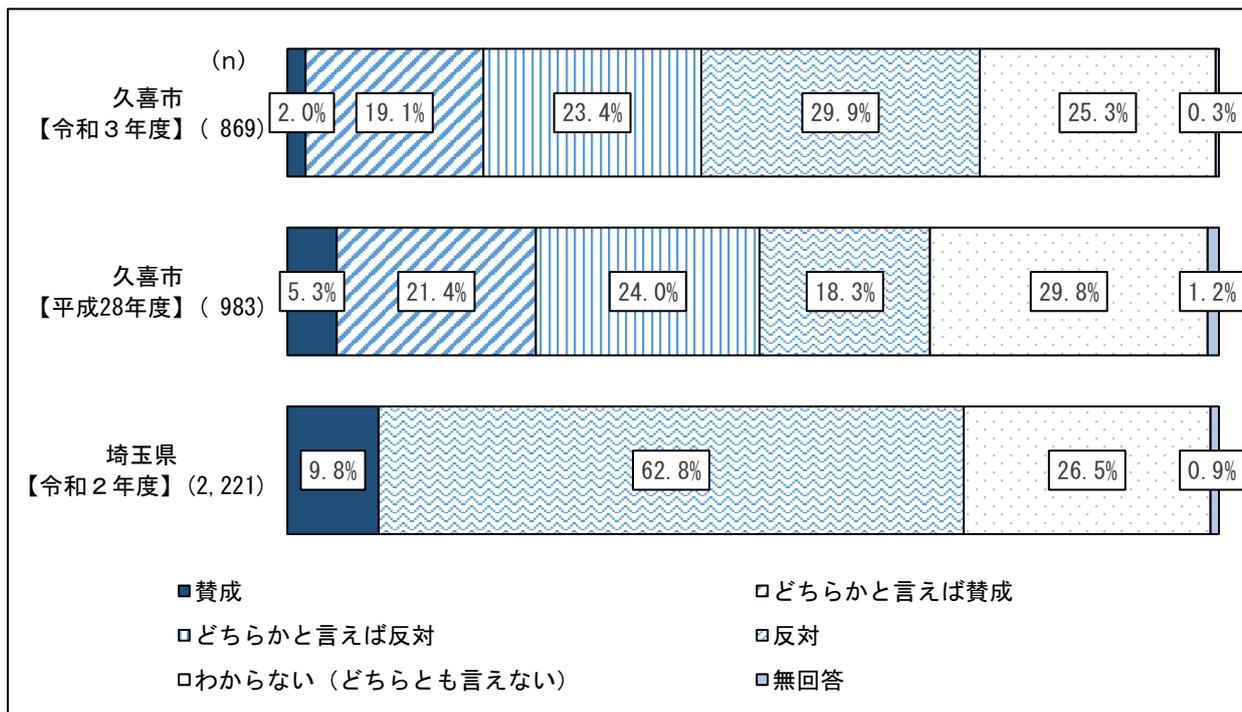
「反対」、「どちらかといえば反対」が53.3%

全体では、「反対」が29.9%と最も多く、次いで「わからない(どちらとも言えない)」が25.3%の順となっています。男女別でみると、男性では同じ順、女性では「反対」に次いで「どちらかといえば反対」が27.2%と2番目に多くなっています。

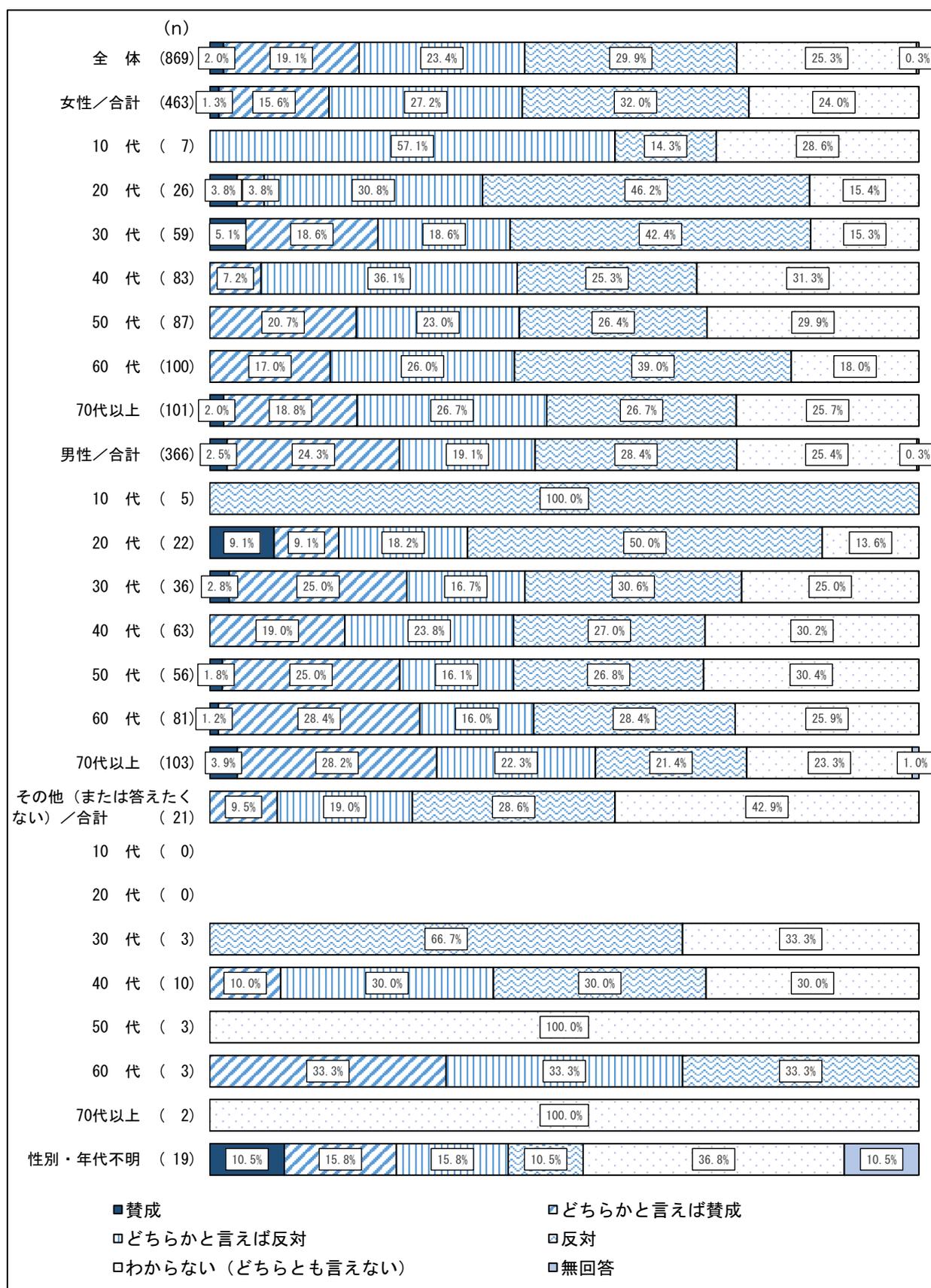
全体において、「反対」、「どちらかといえば反対」の合計は53.3%となっています。平成28年度調査での合計42.3%から11ポイント増加しています。

性・年代別では、「反対」、「どちらかといえば反対」の割合が10代から30代の男女とも多くなっています。「賛成」、「どちらかといえば賛成」の割合は、60代以上の男性に多くなっています。

【全体・経年比較】



【性・年代別】



男女平等に関する意識について

問3 今後、男女が社会のあらゆる分野でさらに平等になるために、最も重要だと思うことは何ですか。（1つだけ選択）

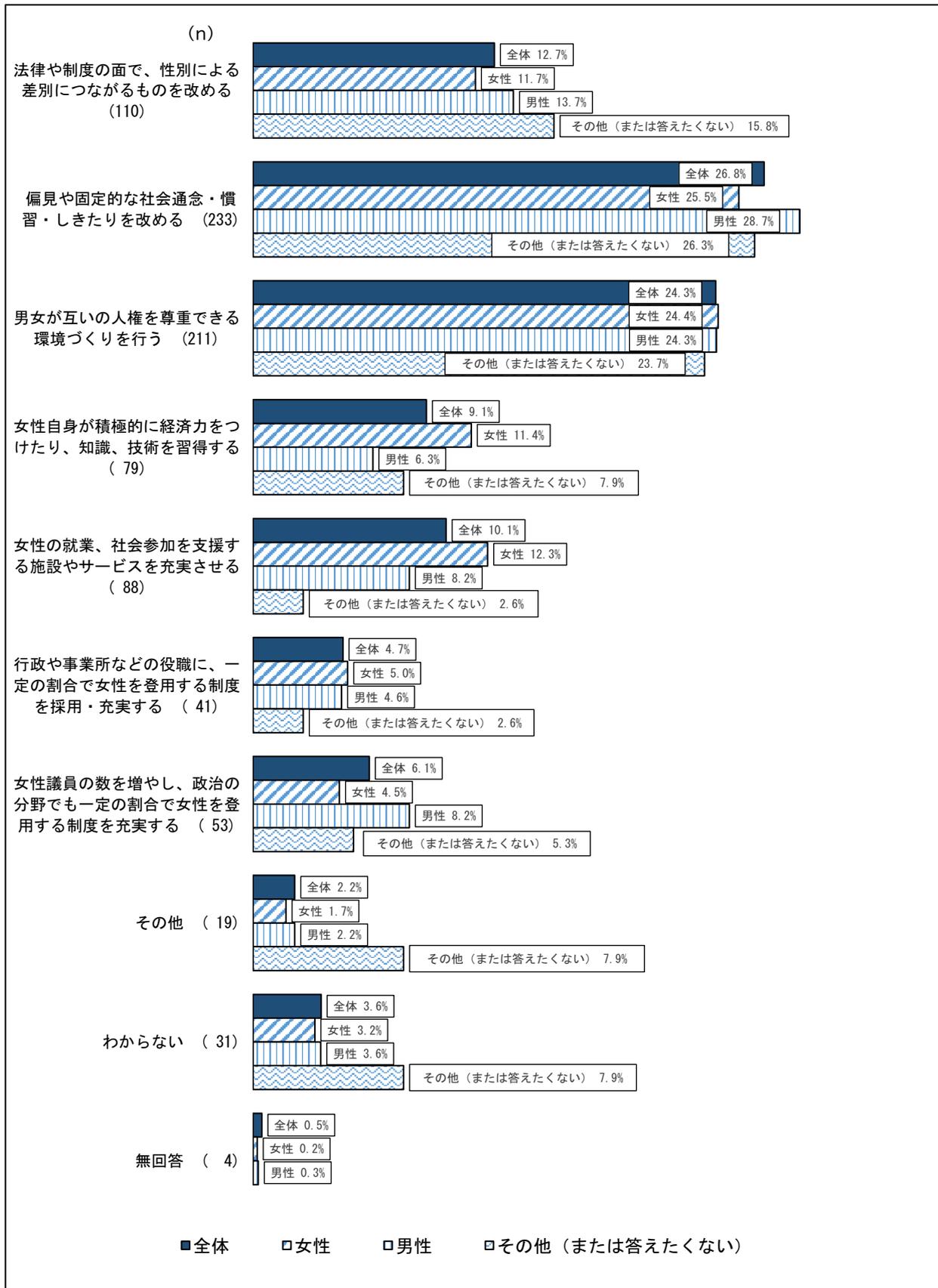
1. 法律や制度の面で、性別による差別につながるものを改める
2. 偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改める
3. 男女が互いの人権を尊重できる環境づくりを行う
4. 女性自身が積極的に経済力をつけたり、知識、技術を習得する
5. 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスを充実させる
6. 行政や事業所などの役職に、一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実する
7. 女性議員の数を増やし、政治の分野でも一定の割合で女性を登用する制度を充実する
8. その他(具体的に:)
9. わからない

「偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改める」が26.8%

全体では、「偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改める」の回答が26.8%で最も多く、次いで「男女が互いの人権を尊重できる環境づくりを行う」の24.3%となっています。

性別で見ると、男女ともに「偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改める」の回答が最も多く、女性25.5%、男性28.7%でした。次いで「男女が互いの人権を尊重できる環境づくりを行う」は、女性24.4%、男性24.3%でした。「女性自身が積極的に経済力をつけたり、知識、技術を習得する」では、男女差が最も大きく、女性11.4%に対し、男性6.3%で5.1ポイント差となっています。

【全体・性別比較】 n=869



その他回答 (記述分)

ベーシックインカムの導入と育休産休の自由度をあげること (男女ともに) (1)、機会の平等が重要と考える (1)、政治・社会・教育すべての考え方および慣習を改める (1)

家庭生活や地域活動について

問4 あなたの家庭では、次の①～⑥のことについて、主にどなたが担当されていますか。（各項目1つだけ選択）

	主として男性	主として女性	共同して分担	その他・該当しない
①家事（炊事・洗濯・掃除など）	1	2	3	4
②子育て（子どもの世話・教育など）	1	2	3	4
③親や家族の介護	1	2	3	4
④家計の管理	1	2	3	4
⑤自治会などの地域活動やPTA活動	1	2	3	4
⑥高額な商品や土地、家屋の購入の決定	1	2	3	4

「主として女性」との回答が最も多かったのは、「①家事（炊事・洗濯・掃除など）」70.5%

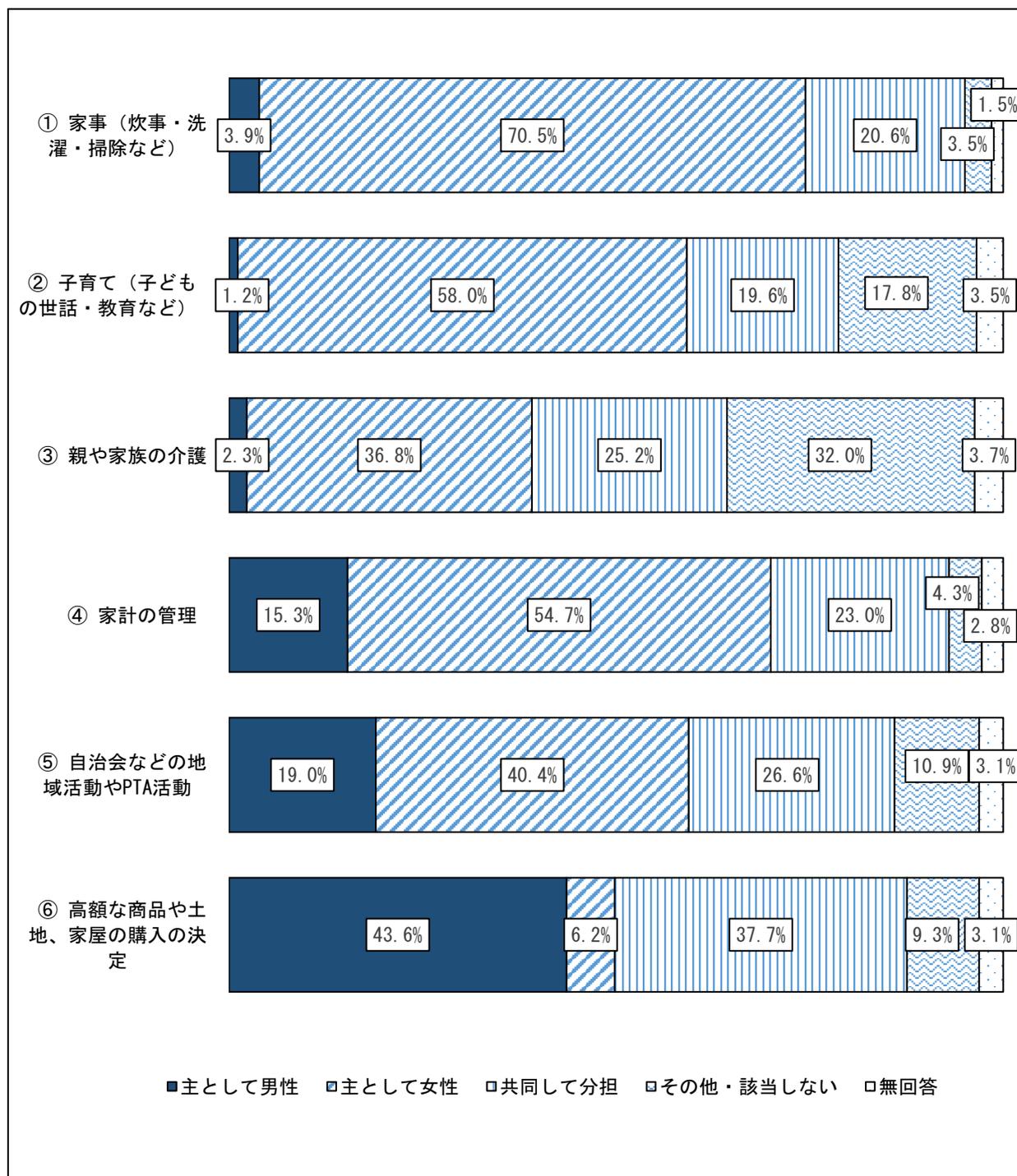
全体として、「主として女性」の回答が最も多かったのは、「①家事（炊事・洗濯・掃除など）」70.5%で、次いで「②子育て（子どもの世話・教育など）」58.0%となっています。

全体として、「主として男性」の回答が最も多かったのは、「⑥高額な商品や土地、家屋の購入の決定」43.6%で、次いで「⑤自治会などの地域活動やPTA活動」19.0%となっています。

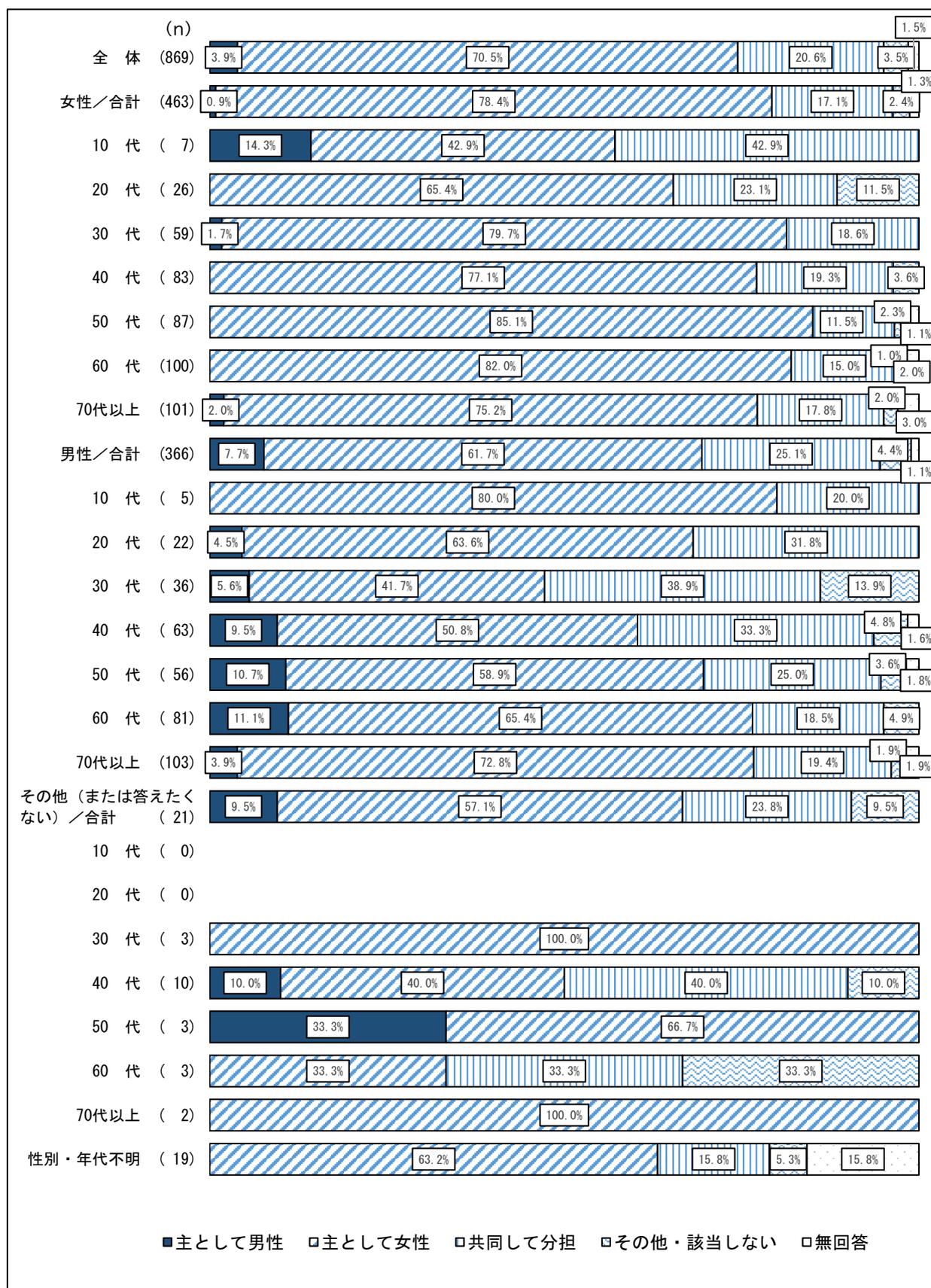
全体として、「共同して分担」の回答が最も多かったのは、「⑥高額な商品や土地、家屋の購入の決定」37.7%で、次いで「⑤自治会などの地域活動やPTA活動」26.6%となっています。

性・年代別で見ると「②子育て（子どもの世話・教育など）」では、女性のうち20代を除く世代で「主として女性」が最も多く、男性の20代と30代では「共同して分担」が最も多くなっています。

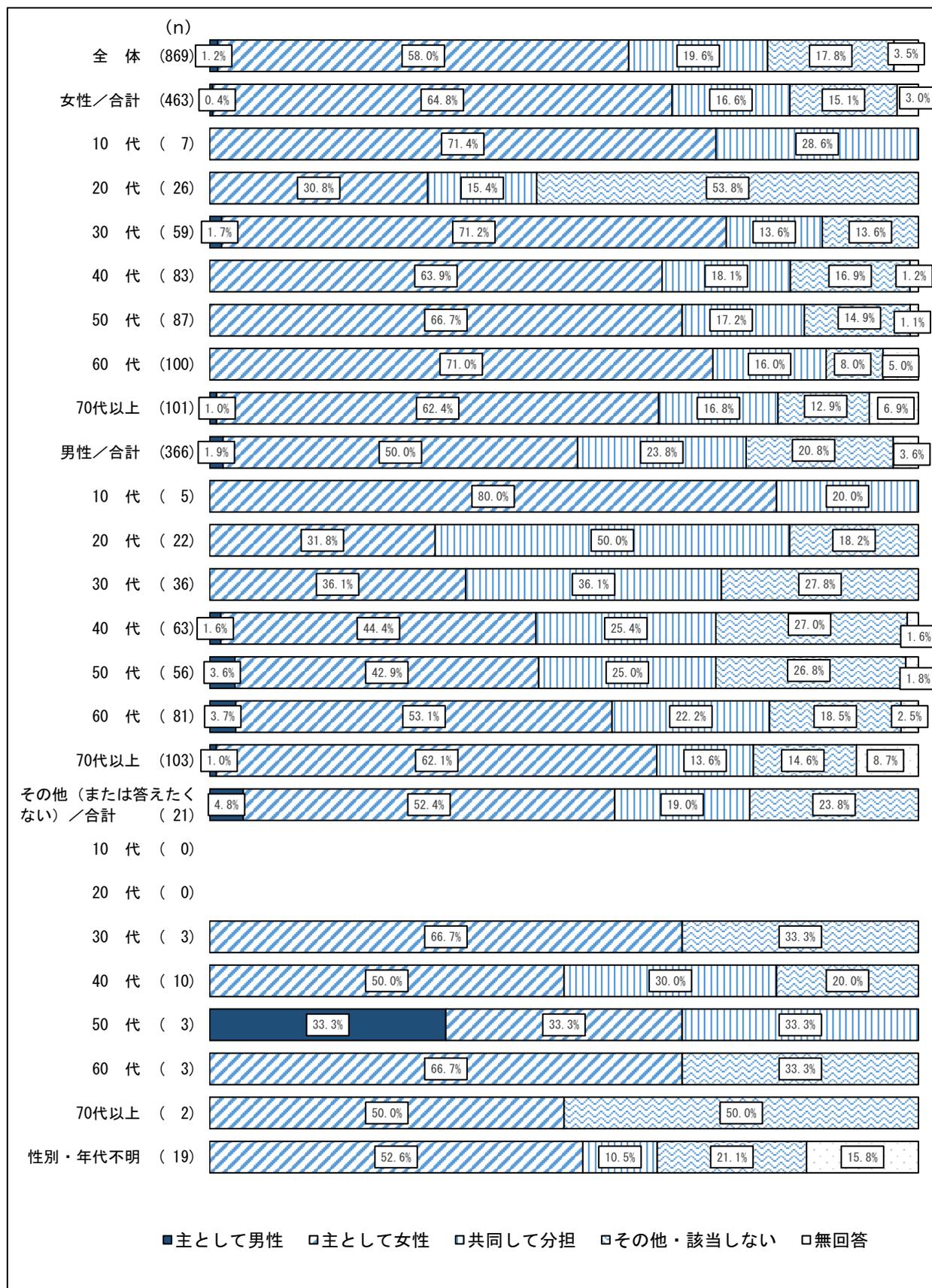
【全体】 n=869



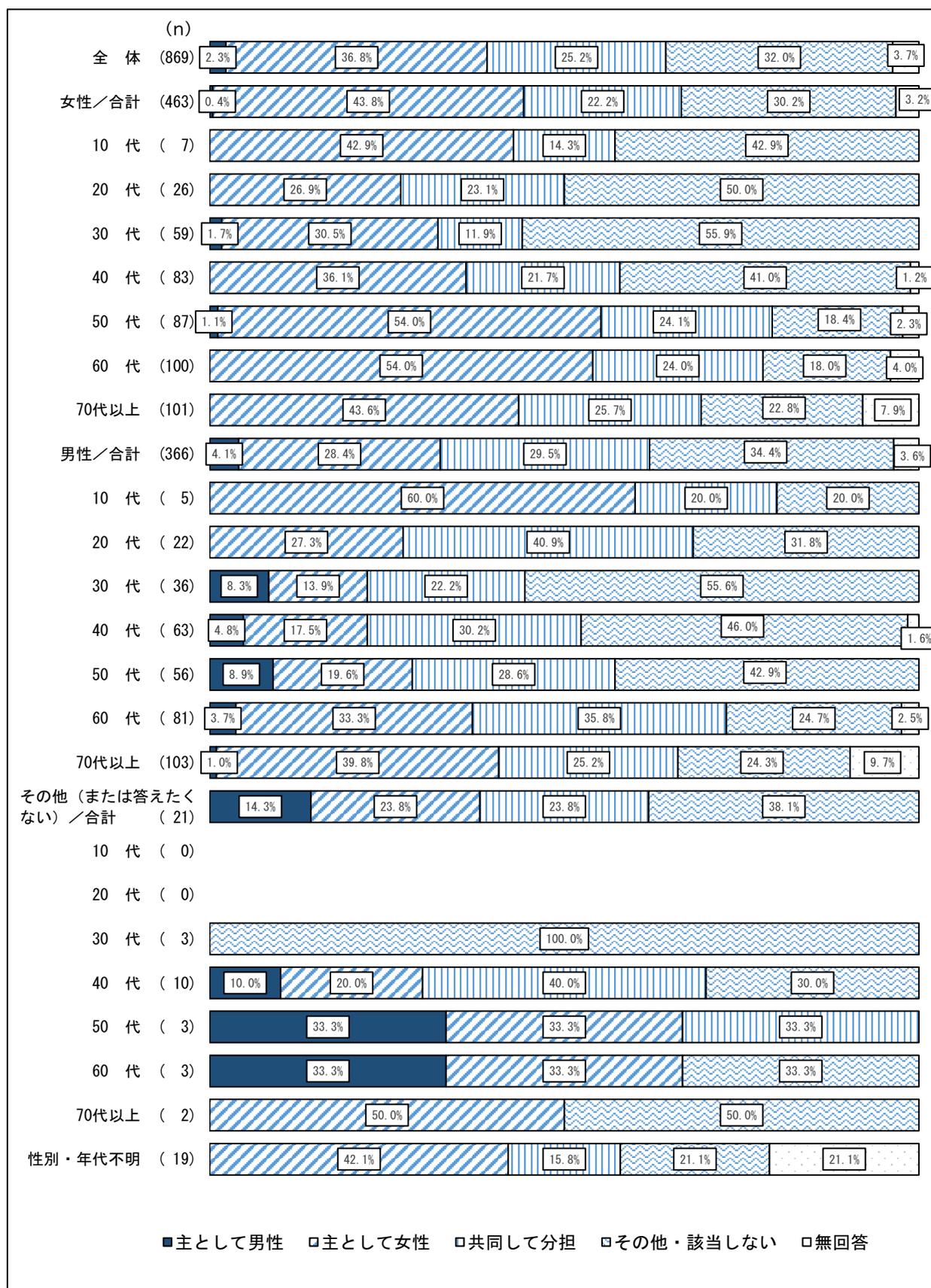
【性・年代別】①家事（炊事・洗濯・掃除など）



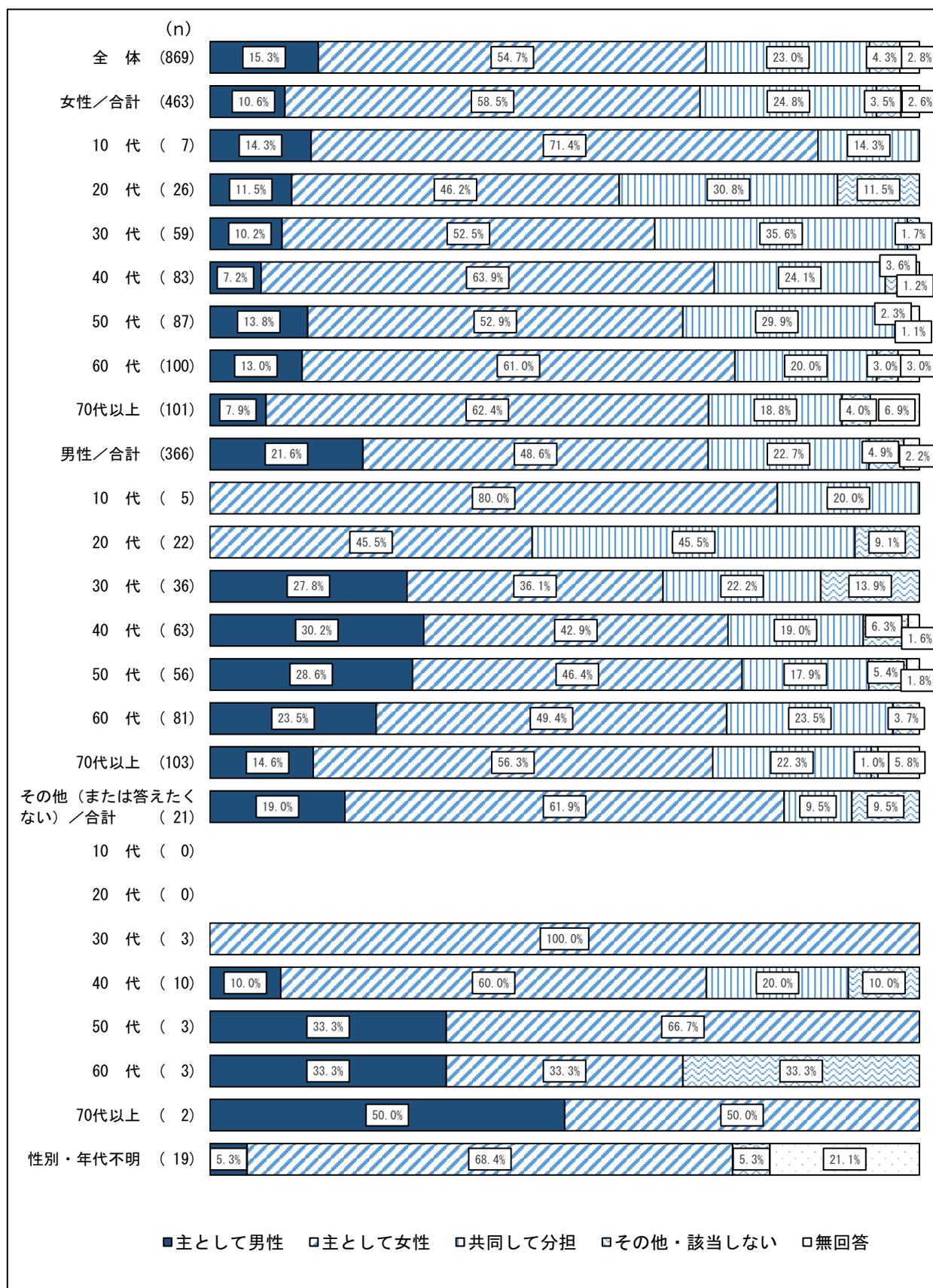
【性・年代別】②子育て（子どもの世話・教育など）



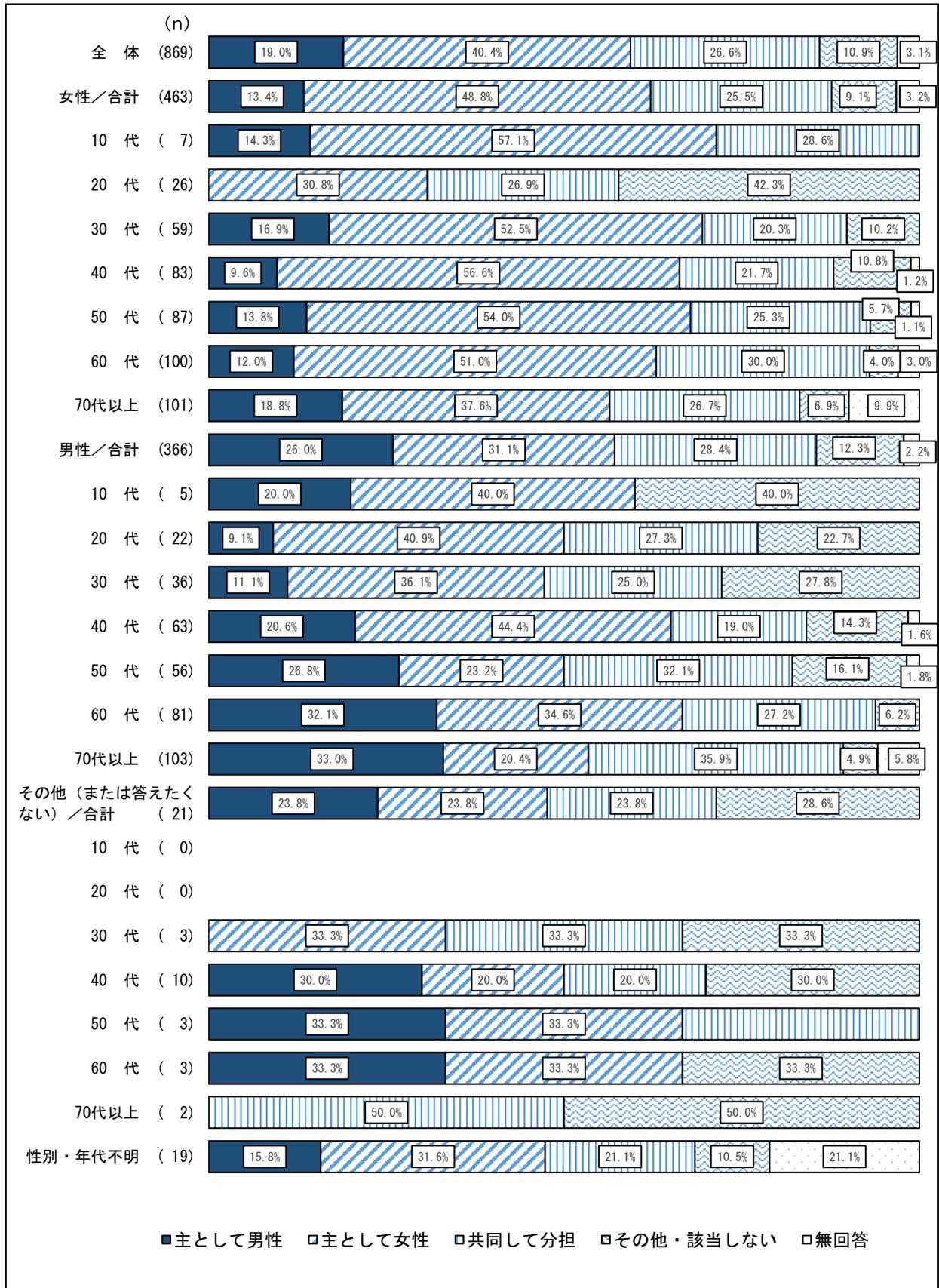
【性・年代別】③親や家族の介護



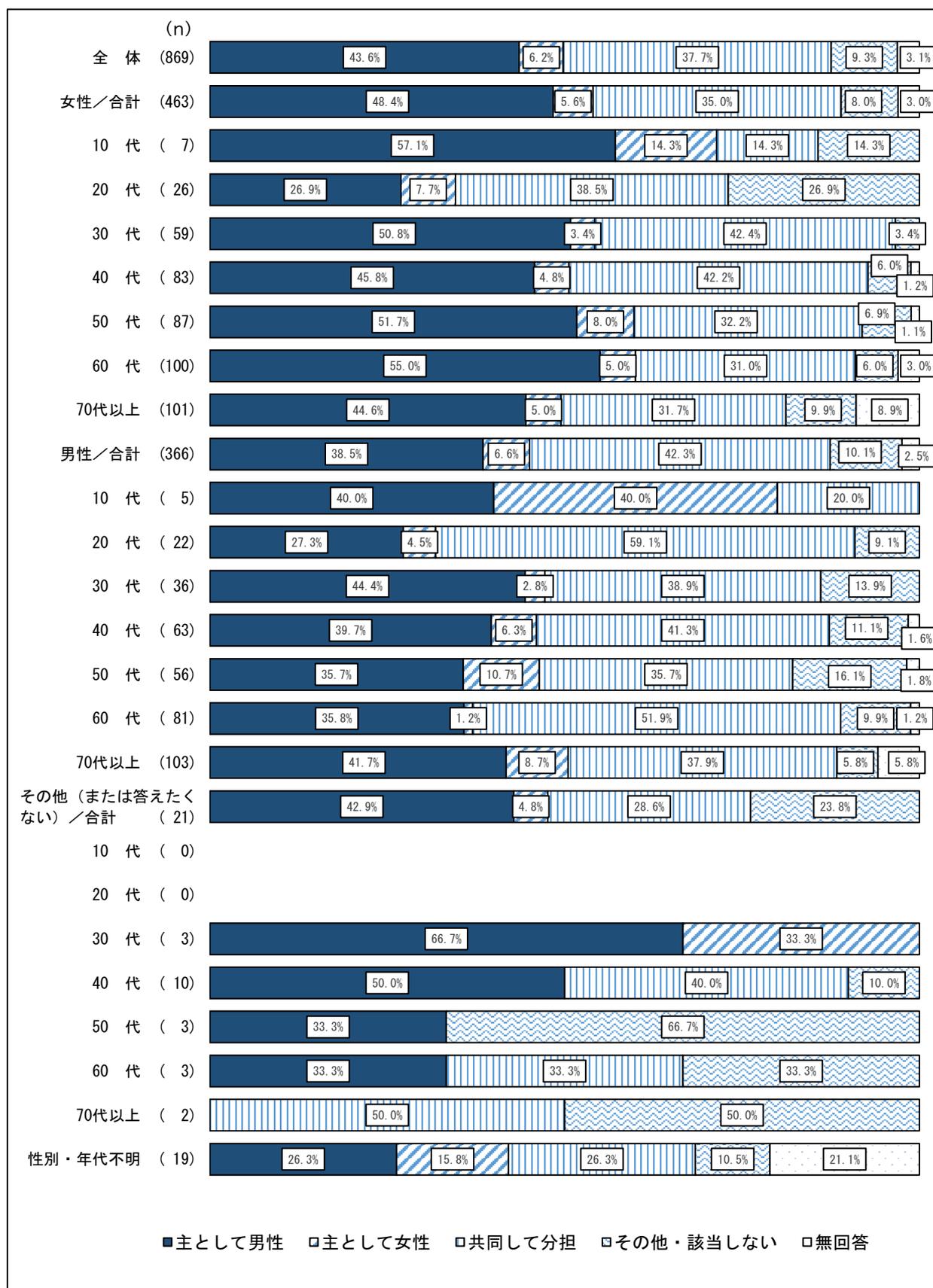
【性・年代別】④家計の管理



【性・年代別】⑤自治会などの地域活動やPTA活動



【性・年代別】⑥高額な商品や土地、家屋の購入の決定



家庭生活や地域活動について

問5 あなたのご家庭では、次の①～⑥のことについて、主にどなたが行うことが望ましいと考えますか。（各項目1つだけ選択）

	主として 男性	主として 女性	共同して 分担	その他
①家事（炊事・洗濯・掃除など）	1	2	3	4
②子育て（子どもの世話・教育など）	1	2	3	4
③親や家族の介護	1	2	3	4
④家計の管理	1	2	3	4
⑤自治会などの地域活動やPTA活動	1	2	3	4
⑥高額な商品や土地、家屋の購入の決定	1	2	3	4

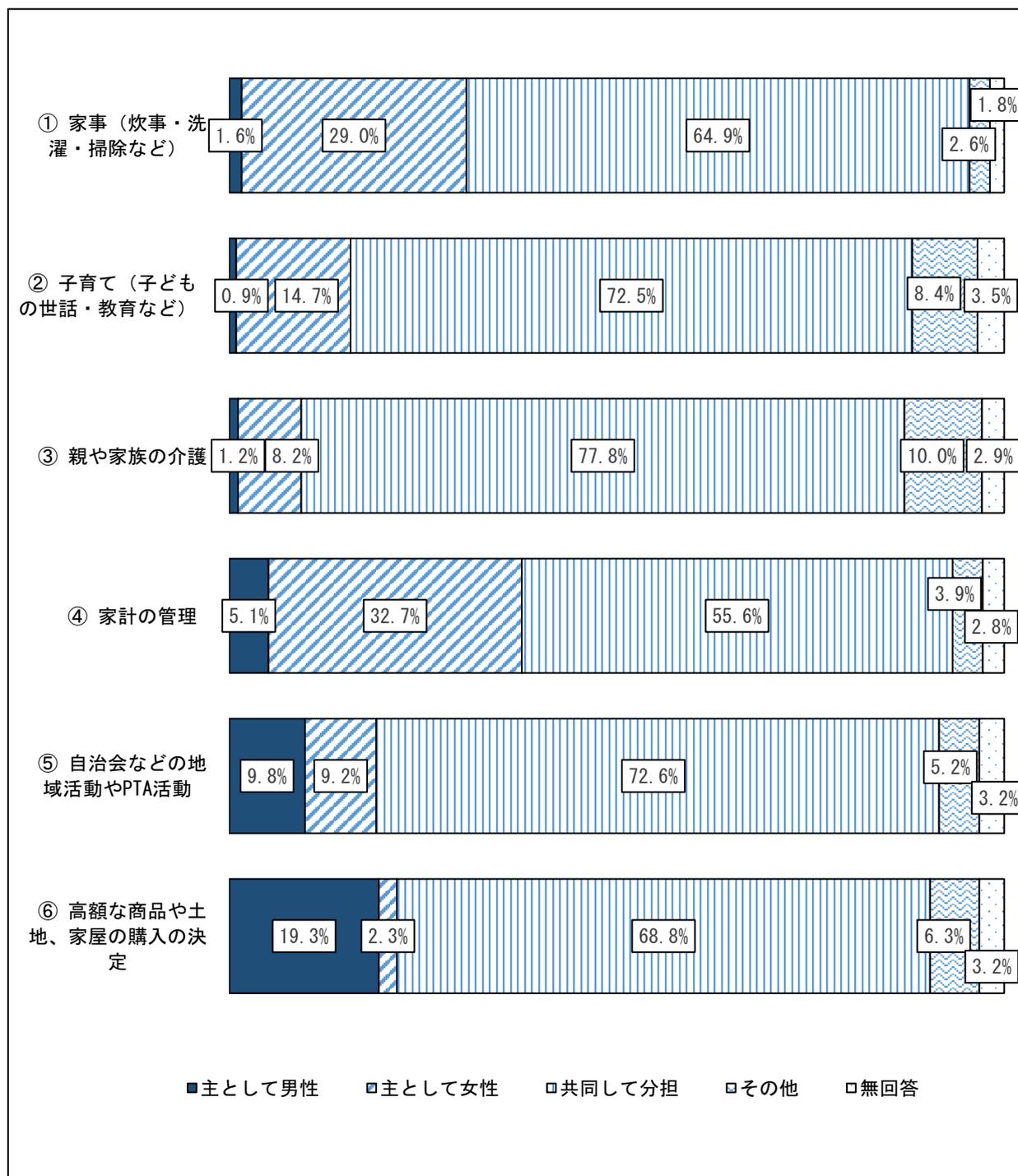
全ての項目で「共同して分担」の回答が、最も多い

全体として、全ての項目で「共同して分担」の回答が最も多くなっています。次いで、「①家事」、「②子育て」、「④家計の管理」は「主として女性」、「⑤自治会などの地域活動やPTA活動」、「⑥高額な商品や土地、家屋の購入の決定」は、「主として男性」の順となっています。

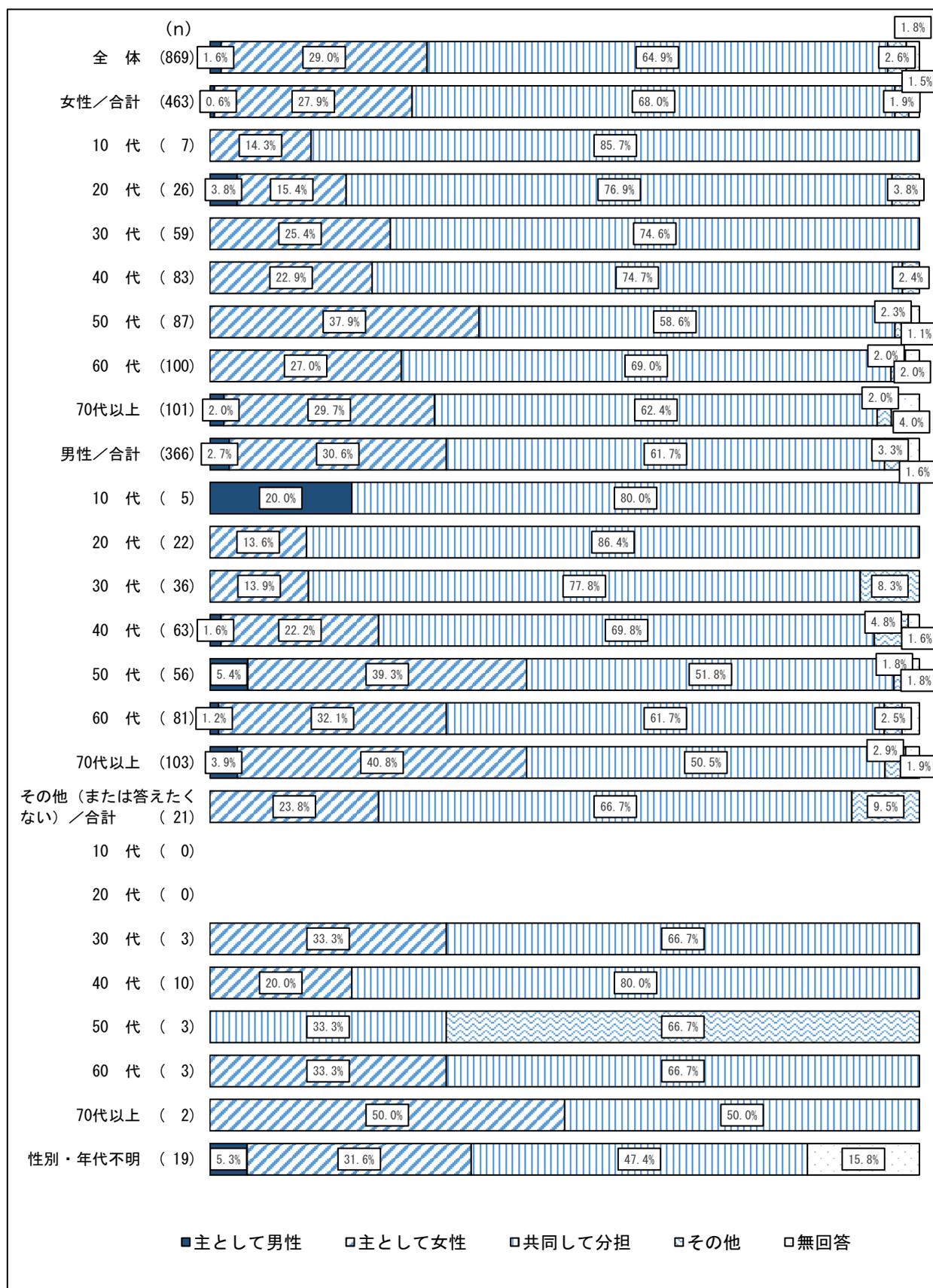
性・年代別で見ると、「⑤自治会などの地域活動やPTA活動」では、その他の50代を除く性・年代で「共同して分担」が最も多く、次いで女性の10代と50代、男性の20代から40代を除く性・年代で「主として男性」が多くなっています。

全体として、前出の問4では「共同して分担」が最も多い項目はなかったことから、家庭での役割分担の現状と理想に差があることが窺えます。

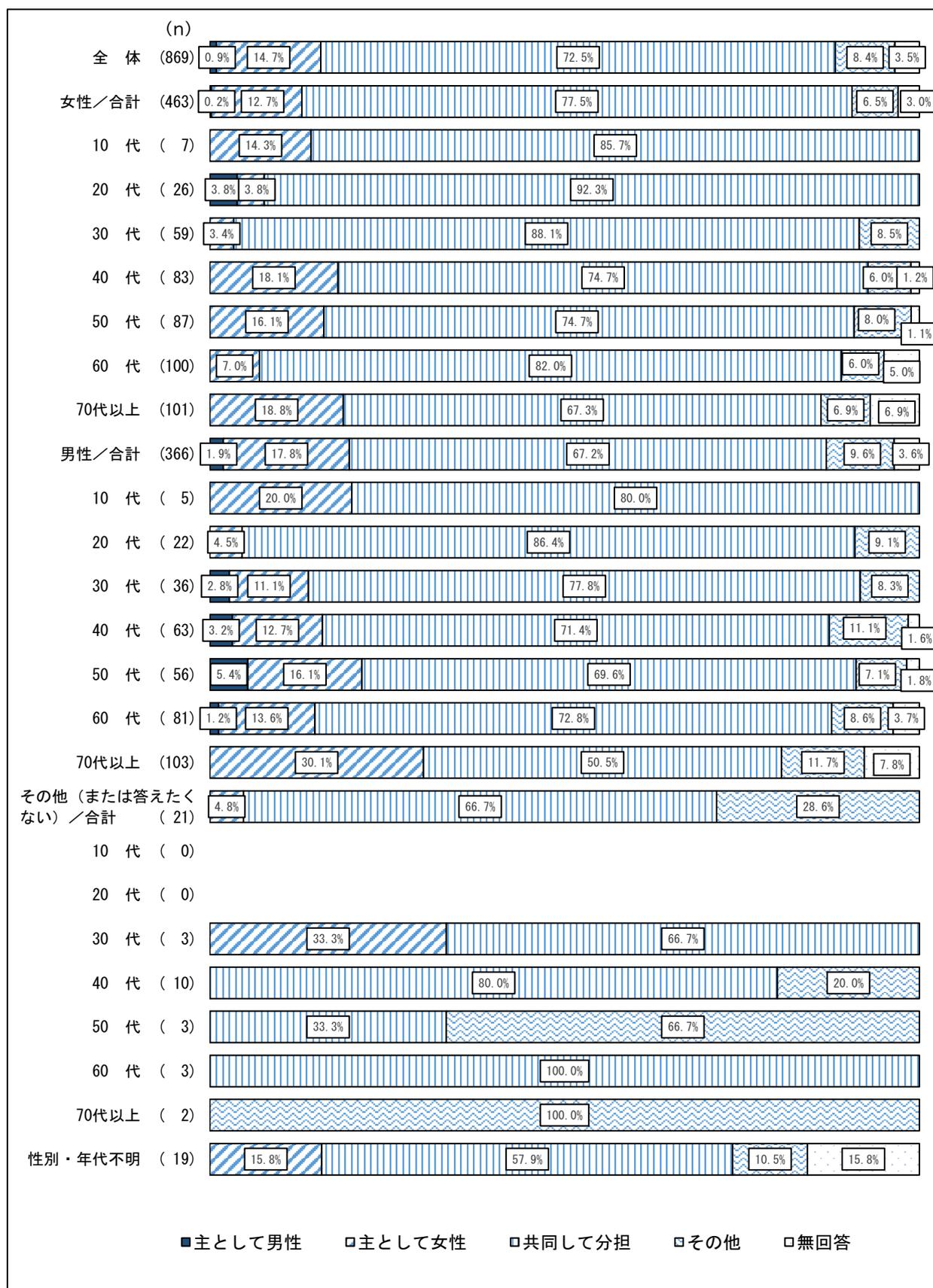
【全体】 n=869



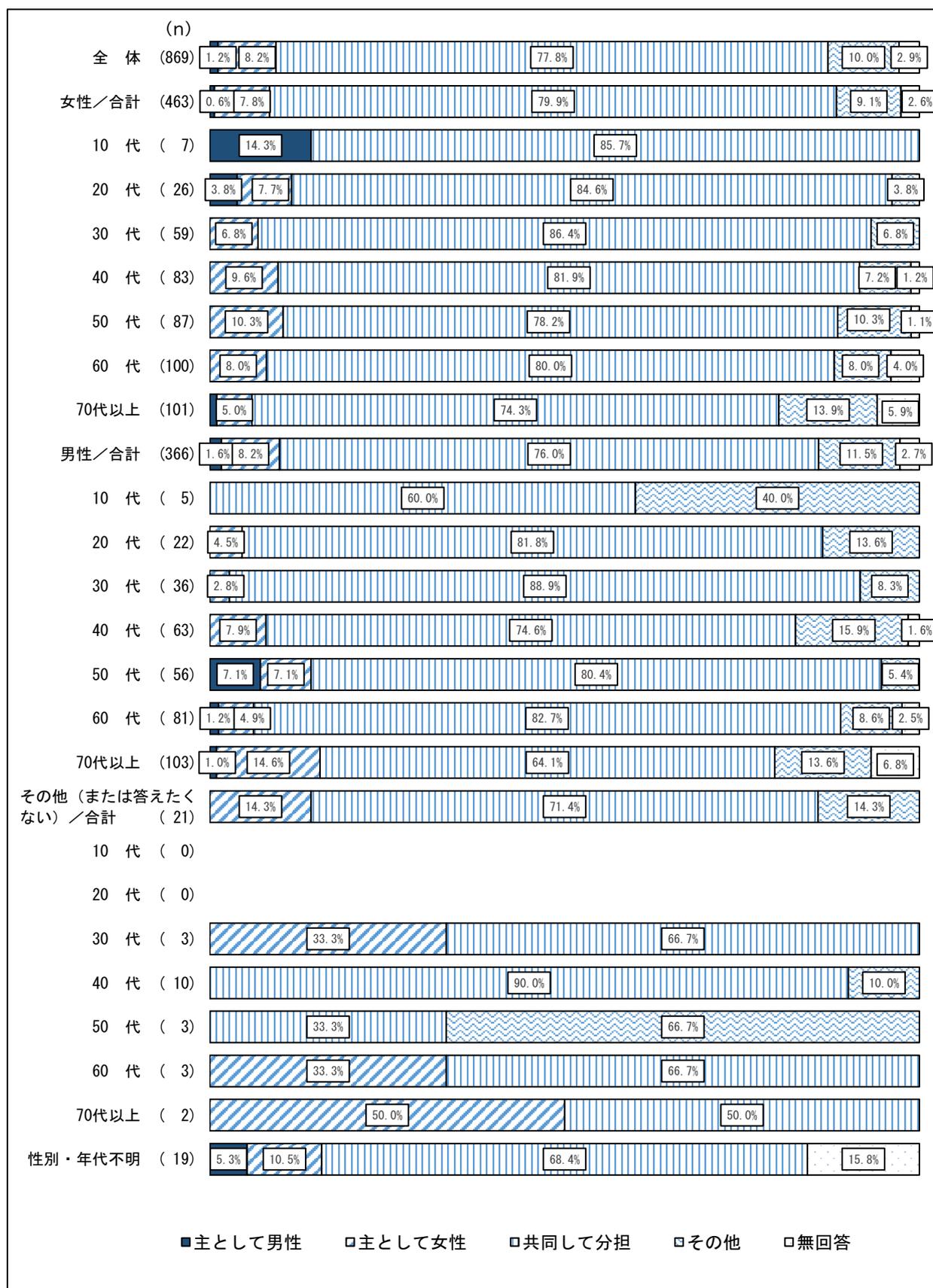
【性・年代別】①家事（炊事・洗濯・掃除など）



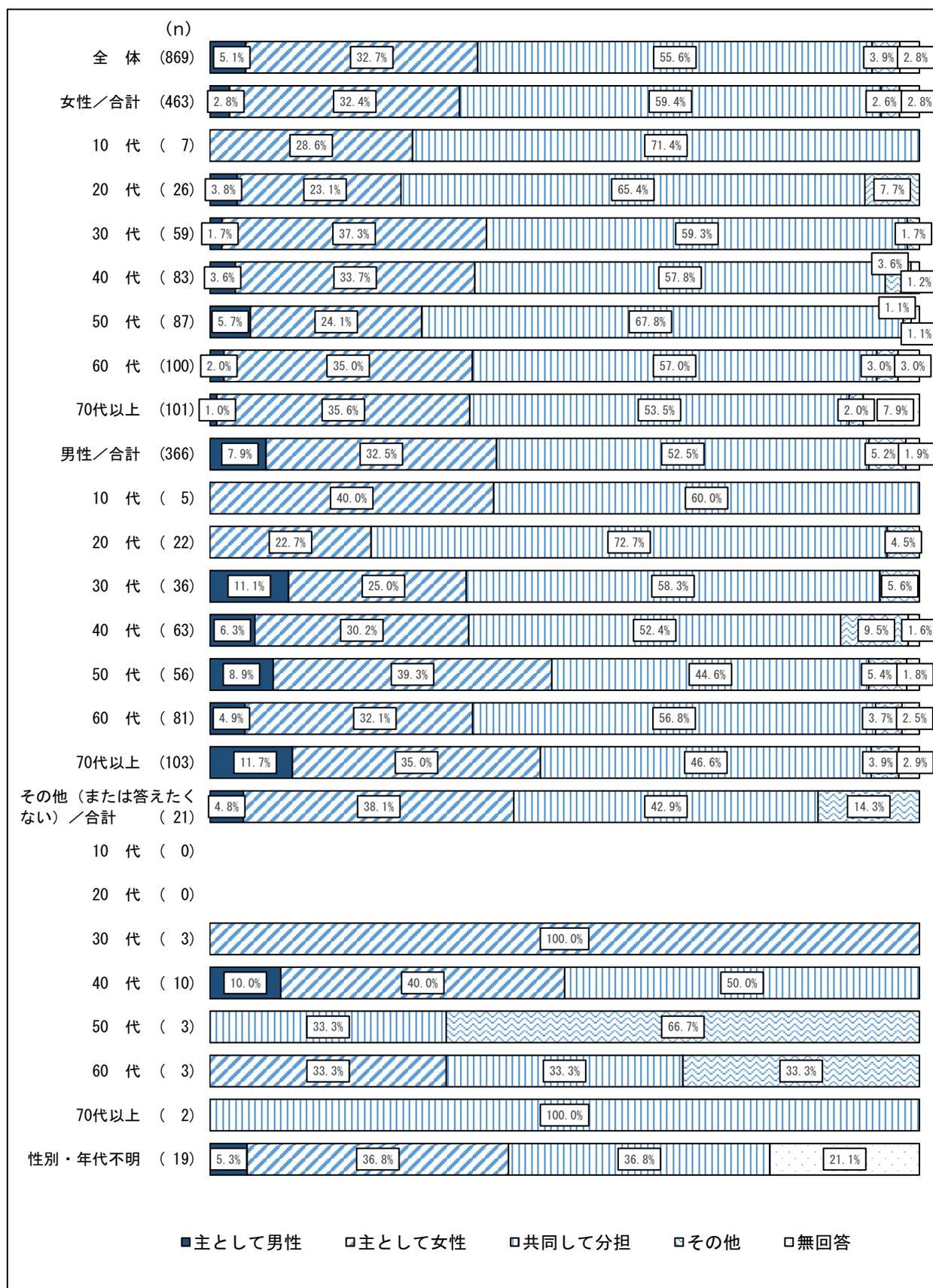
【性・年代別】②子育て（子どもの世話・教育など）



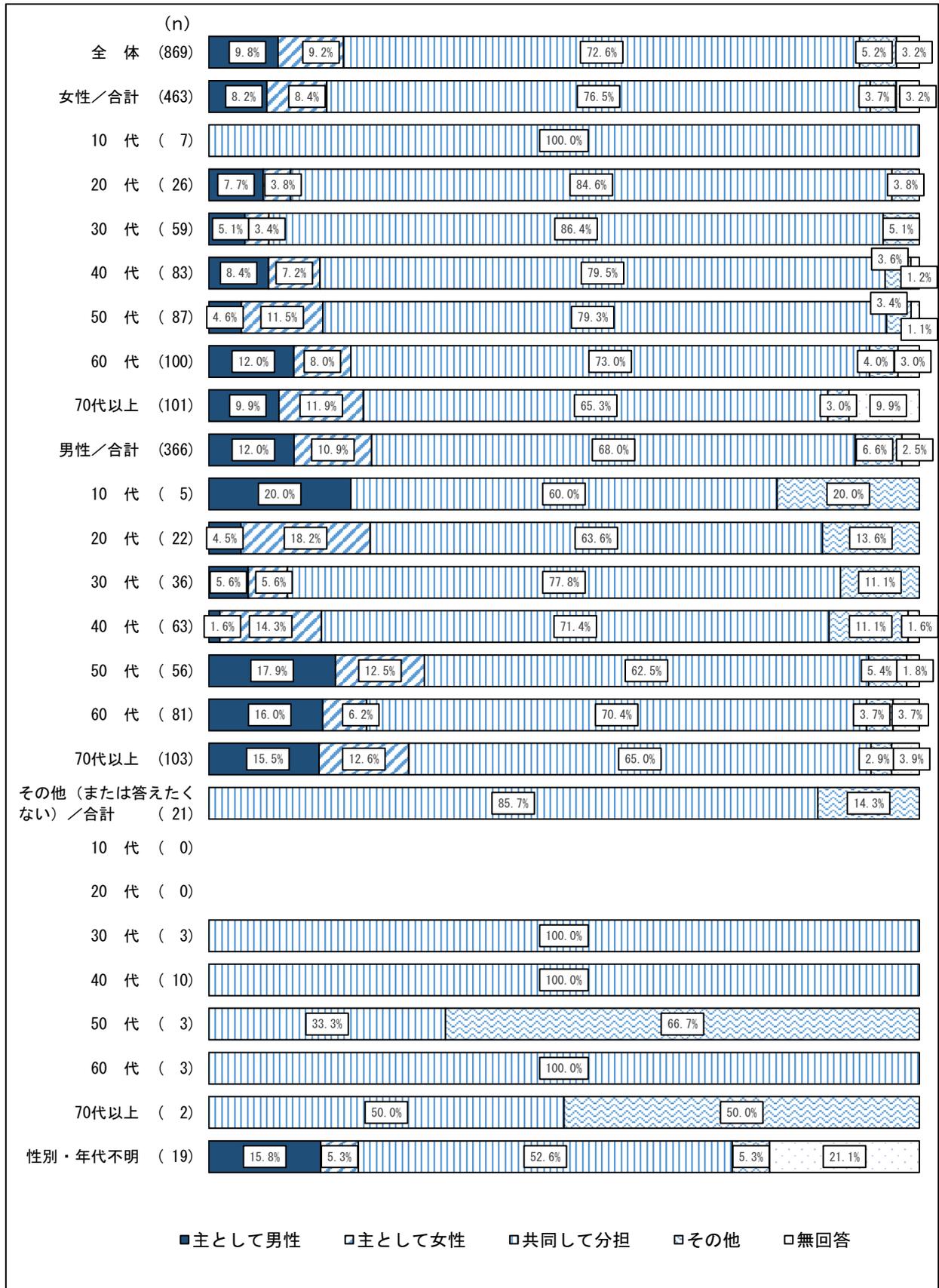
【性・年代別】③親や家族の介護



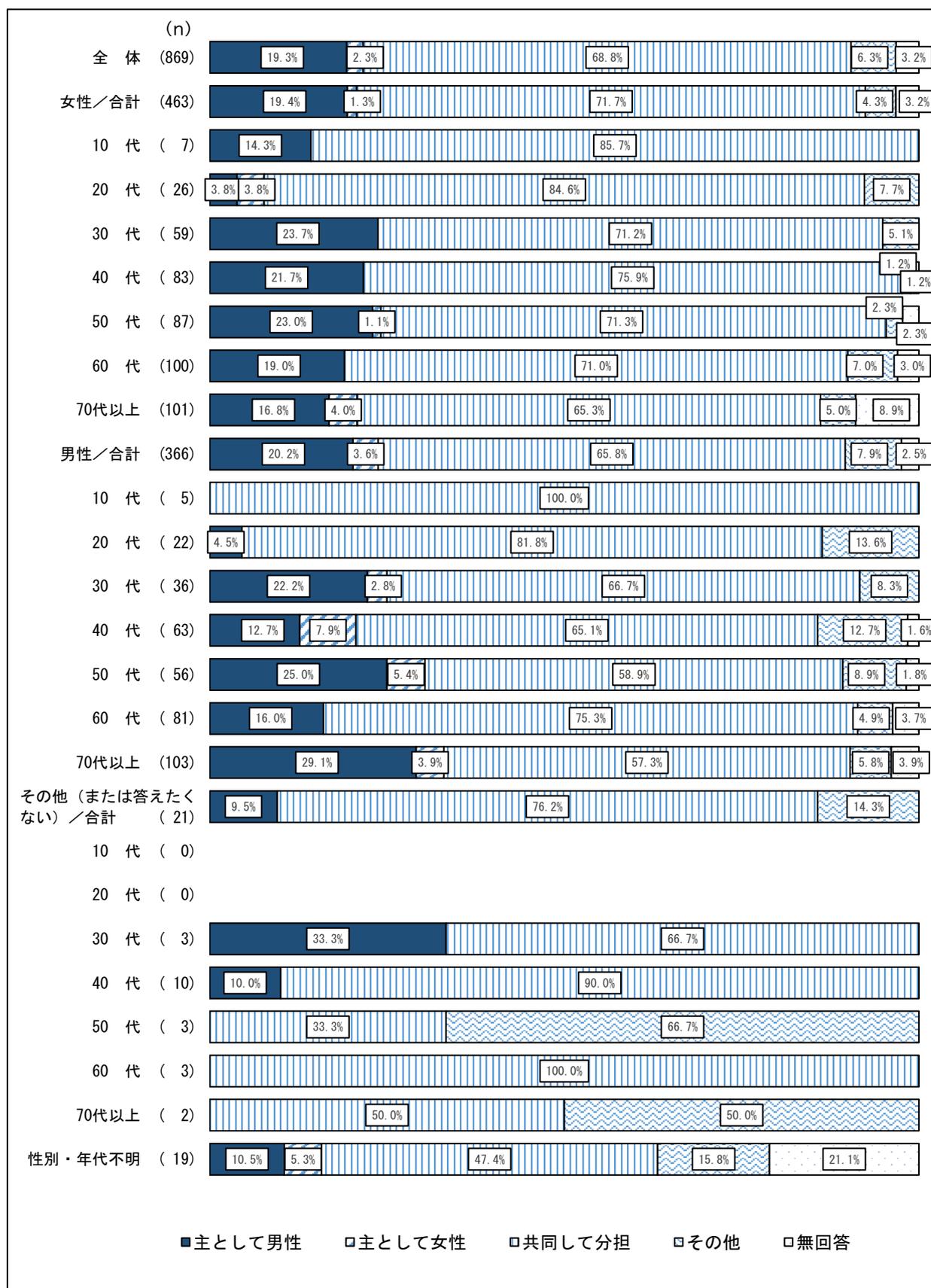
【性・年代別】④家計の管理



【性・年代別】⑤自治会などの地域活動やPTA活動



【性・年代別】⑥高額な商品や土地、家屋の購入の決定



家庭生活や地域活動について

問6 仕事と生活のバランスについて、あなたの現状で優先しているものを「ア 現在の状況」から、優先したいと思うものを「イ 理想」から、それぞれ2つお答えください。（各項目2つまで選択）

ア 現在の状況

1. 仕事を優先した生活
2. 家庭生活を優先した生活
3. 地域活動・趣味・娯楽を優先した生活
4. その他()
5. わからない

イ 理想

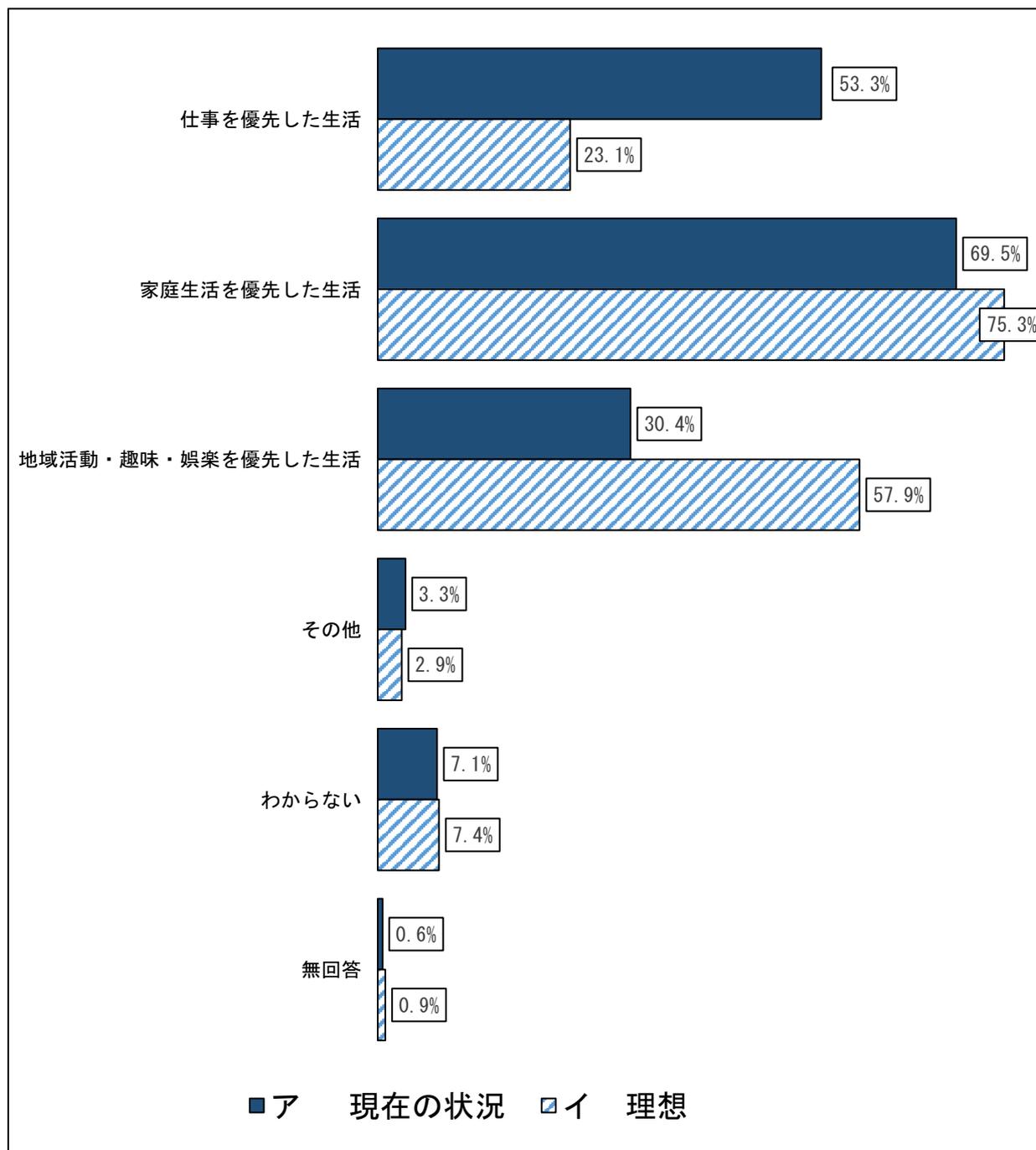
1. 仕事を優先した生活
2. 家庭生活を優先した生活
3. 地域活動・趣味・娯楽を優先した生活
4. その他()
5. わからない

現状、理想ともに「家庭生活を優先した生活」が最も多い

現状は、「家庭生活を優先した生活」が69.5%、次いで「仕事を優先した生活」が53.3%となっています。性別で見ると、「仕事を優先した生活」は男性61.2%に対し女性は46.0%、「家庭生活を優先した生活」は女性76.7%に対し男性は61.2%となっています。

理想では、現状と比較すると「仕事を優先した生活」と回答した割合が少なく、「地域活動・趣味・娯楽を優先した生活」と回答した割合が多くなっており、現状と理想の乖離が大きくなっています。

【全体】 n=869



その他の回答（記述分）

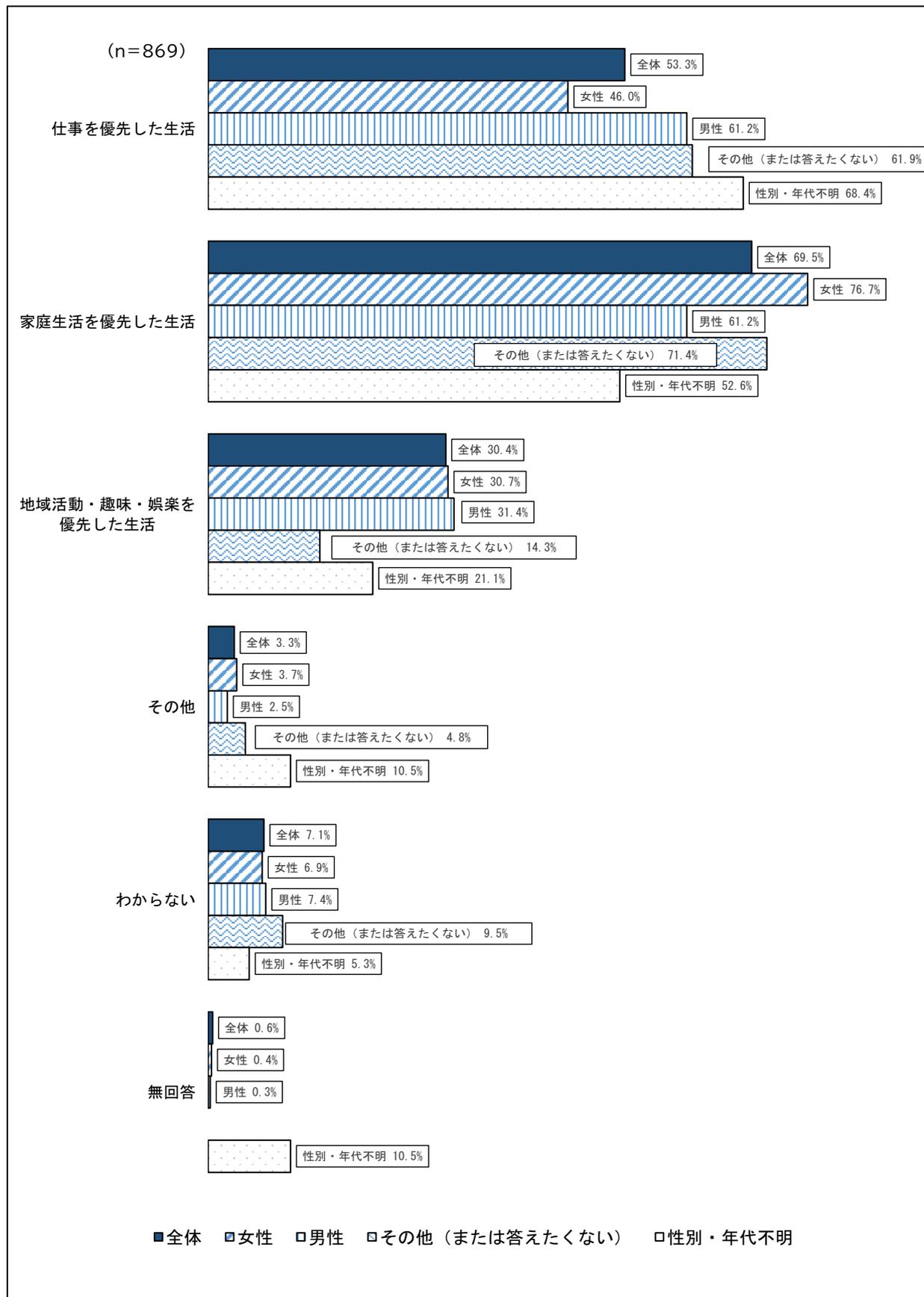
【ア現在の状況】

健康・病気療養を優先した生活（6）、学業を優先した生活（3）、育児を優先した生活（3）

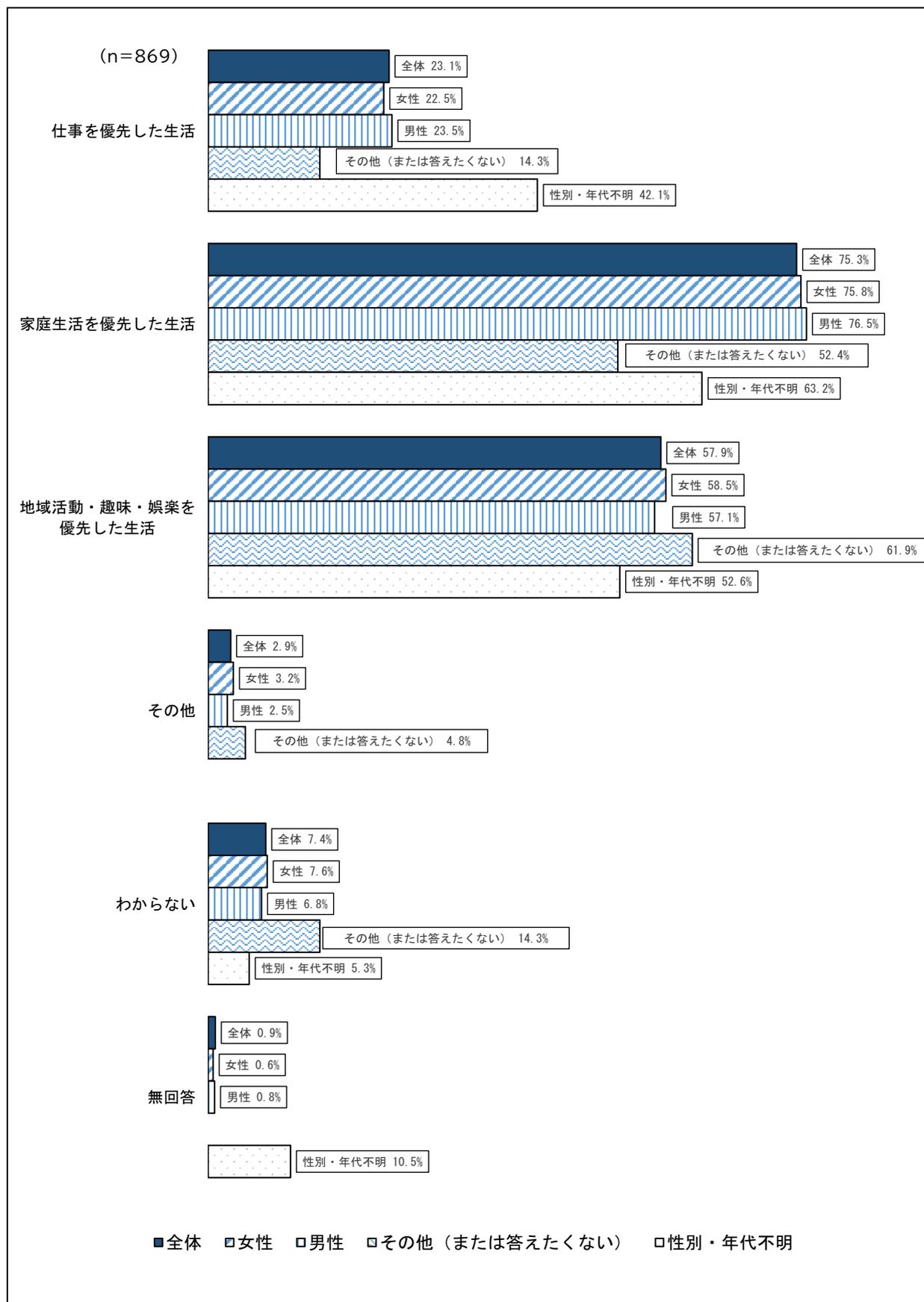
【イ理想】

学業を優先した生活（3）、仕事と家庭生活のバランスがとれた生活（3）、すべてのバランスがとれた生活（2）

【性別】 ア 現在の状況



【性別】 イ 理想



家庭生活や地域活動について

問7 あなたは、次のような地域で行う活動に参加したことがありますか。また、今後参加してみたい活動は何ですか。（各項目どちらか1つを選択）

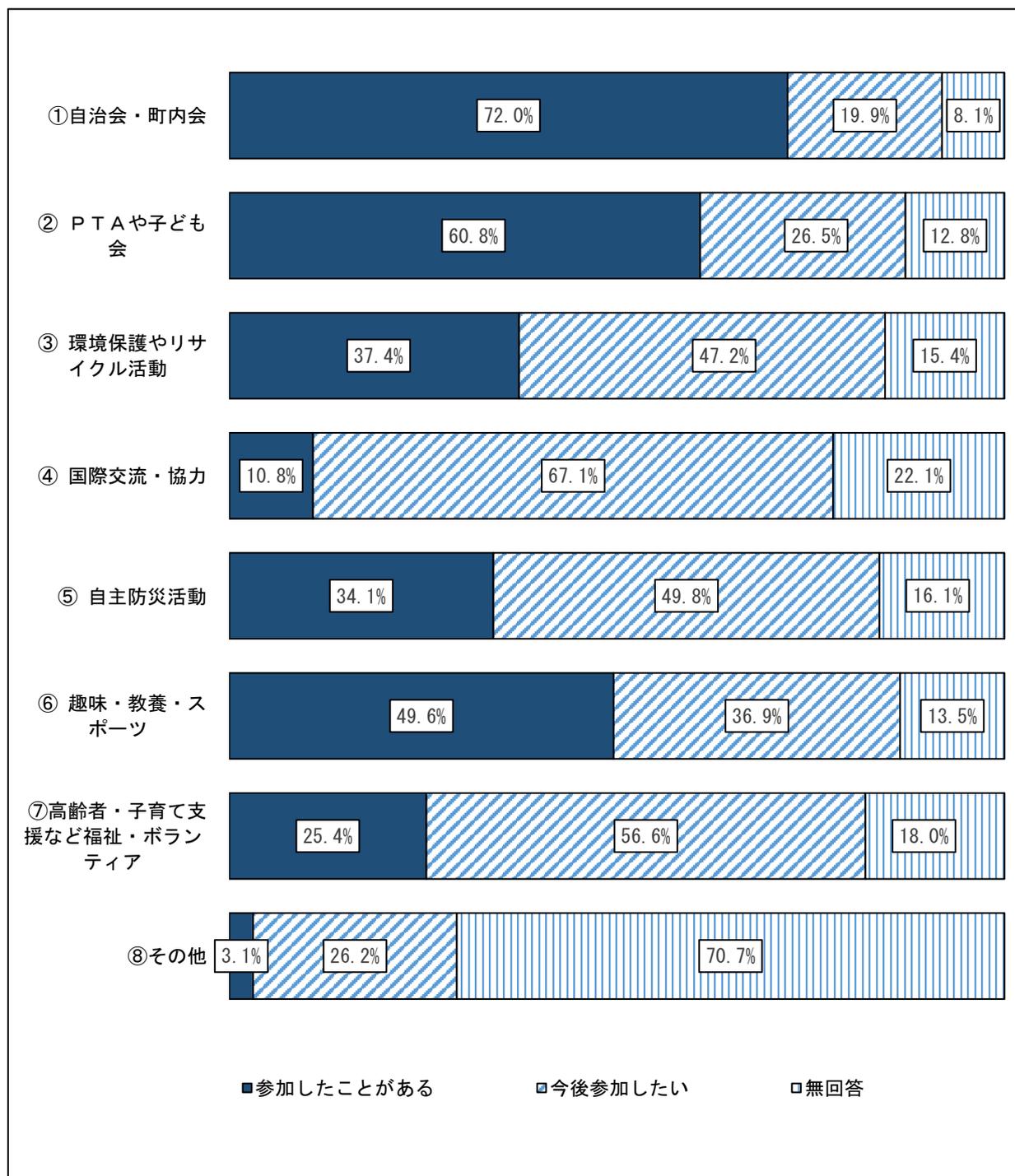
	参加したことがある	今後参加したい
①自治会・町内会	1	2
②PTAや子ども会	1	2
③環境保護やリサイクル活動	1	2
④国際交流・協力	1	2
⑤自主防災活動	1	2
⑥趣味・教養・スポーツ	1	2
⑦高齢者・子育て支援など福祉・ボランティア	1	2
⑧その他（ ）	1	2

「①自治会・町内会」への参加が72.0%で最も多い

全体で、「参加したことがある」と回答した割合が最も多かったのは、「①自治会・町内会」で72.0%、次いで「②PTAや子ども会」の60.8%となっています。

性・年代別に見ていくと、「⑤自主防災活動」では男性・女性とも50代以上で「参加したことがある」と回答した割合が多くなっています。「①自治会・町内会」の「参加したことがある」との回答のうち、30代では女性52.5%に対し男性は33.3%と19.2ポイントの差があります。また、「②PTAや子ども会」の「参加したことがある」との回答は、女性が73.0%であるのに対し、男性は44.8%で、28.2ポイント差となっています。

【全体】 n=869



⑧その他回答（記述分）

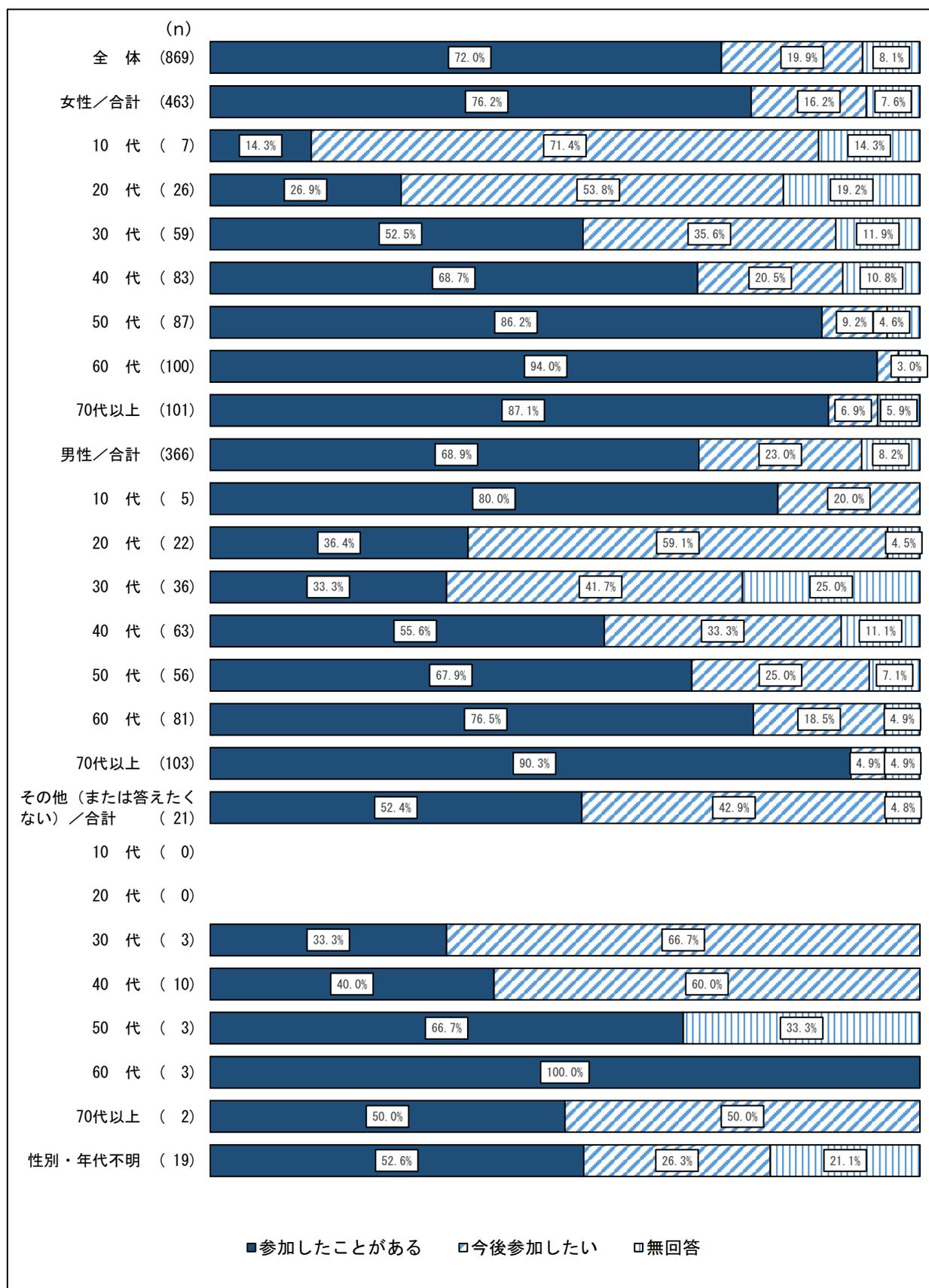
【参加したことがある】

震災・災害ボランティア（2）、環境美化（2）、祭り（2）

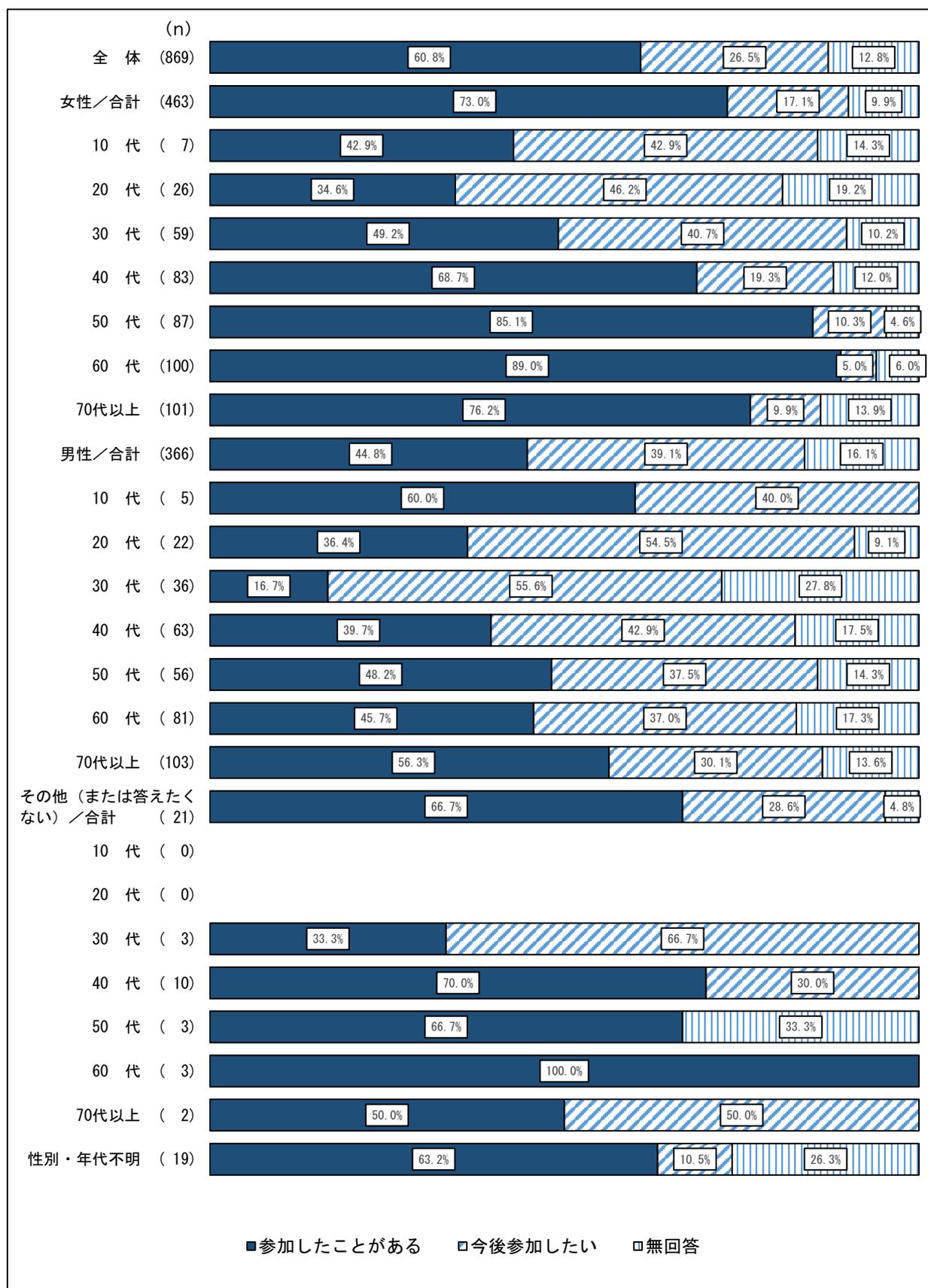
【今後参加したい】

動物愛護（4）、子育て支援（3）、スポーツ関係（3）、環境美化（2）、自主防災活動（2）

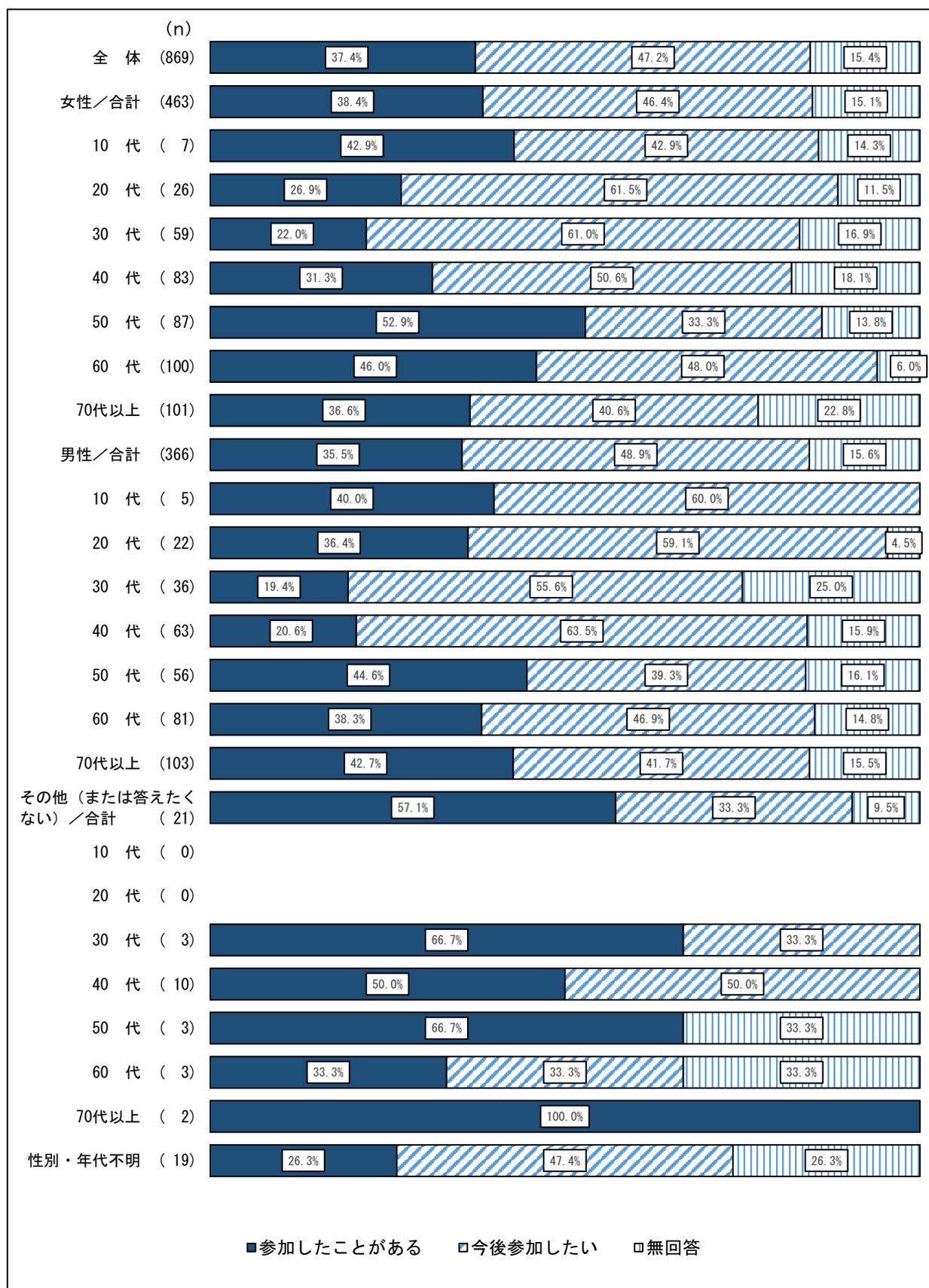
【性・年代別】①自治会・町内会



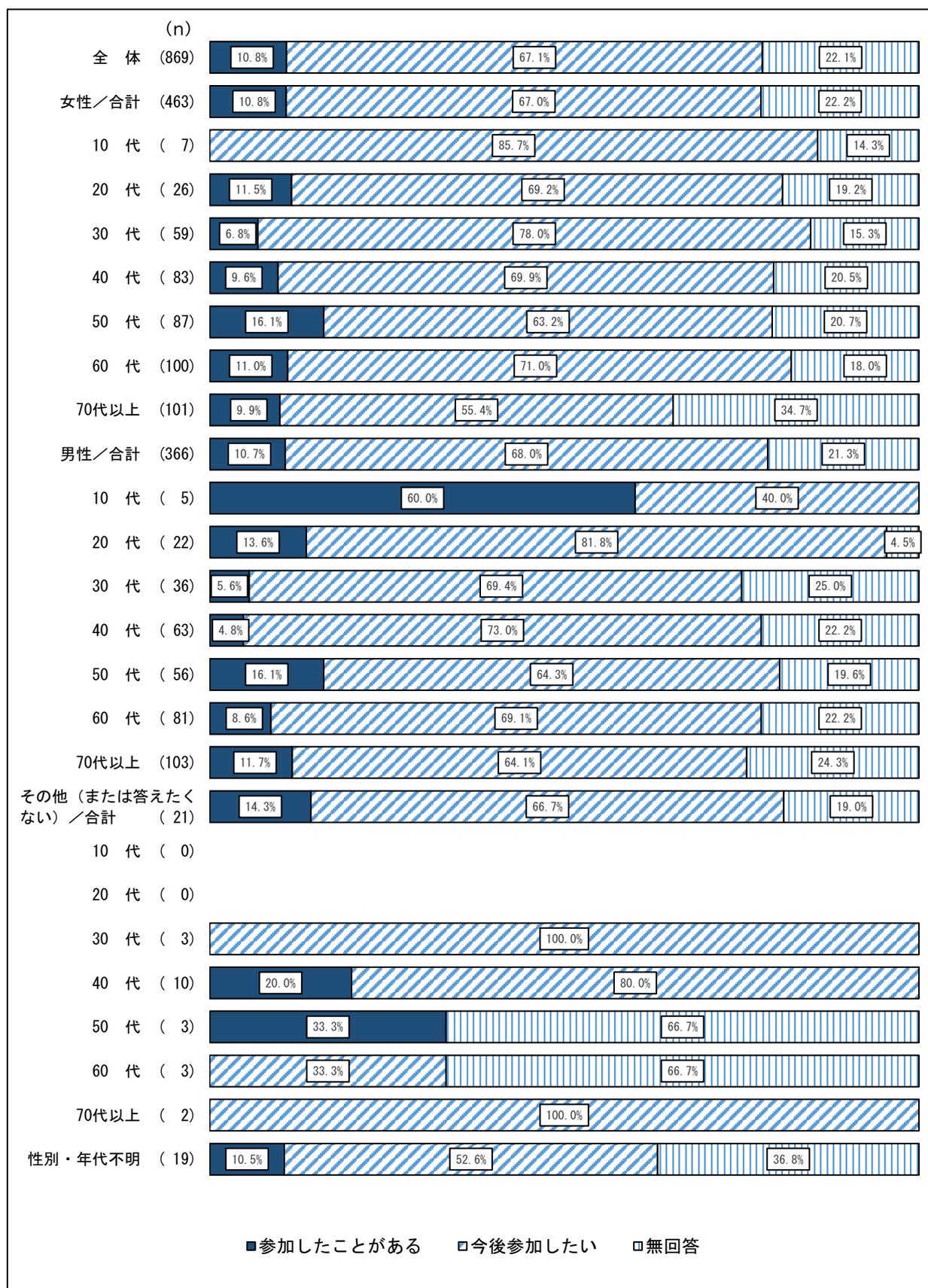
【性・年代別】②PTAや子ども会



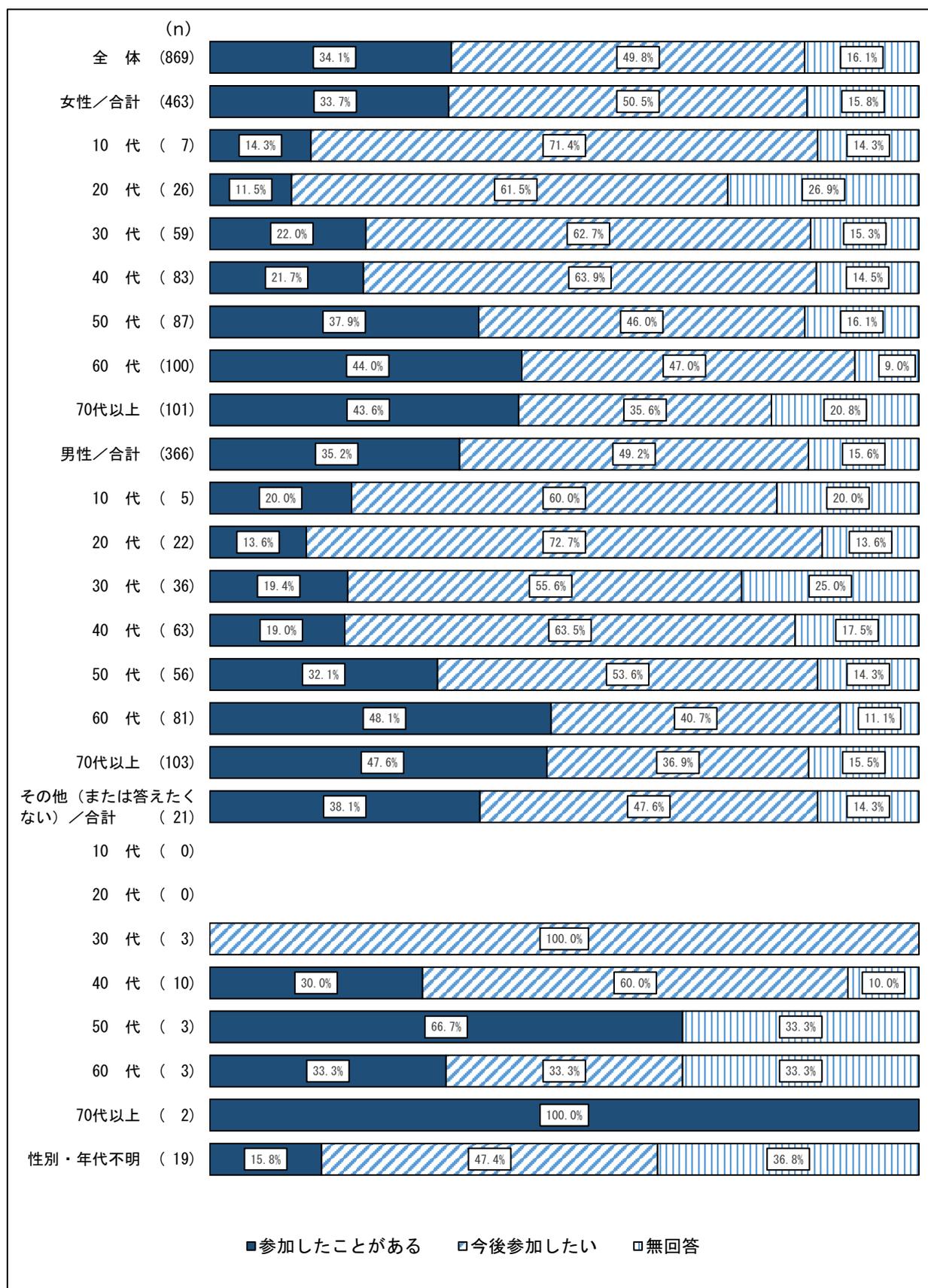
【性・年代別】③環境保護やリサイクル活動



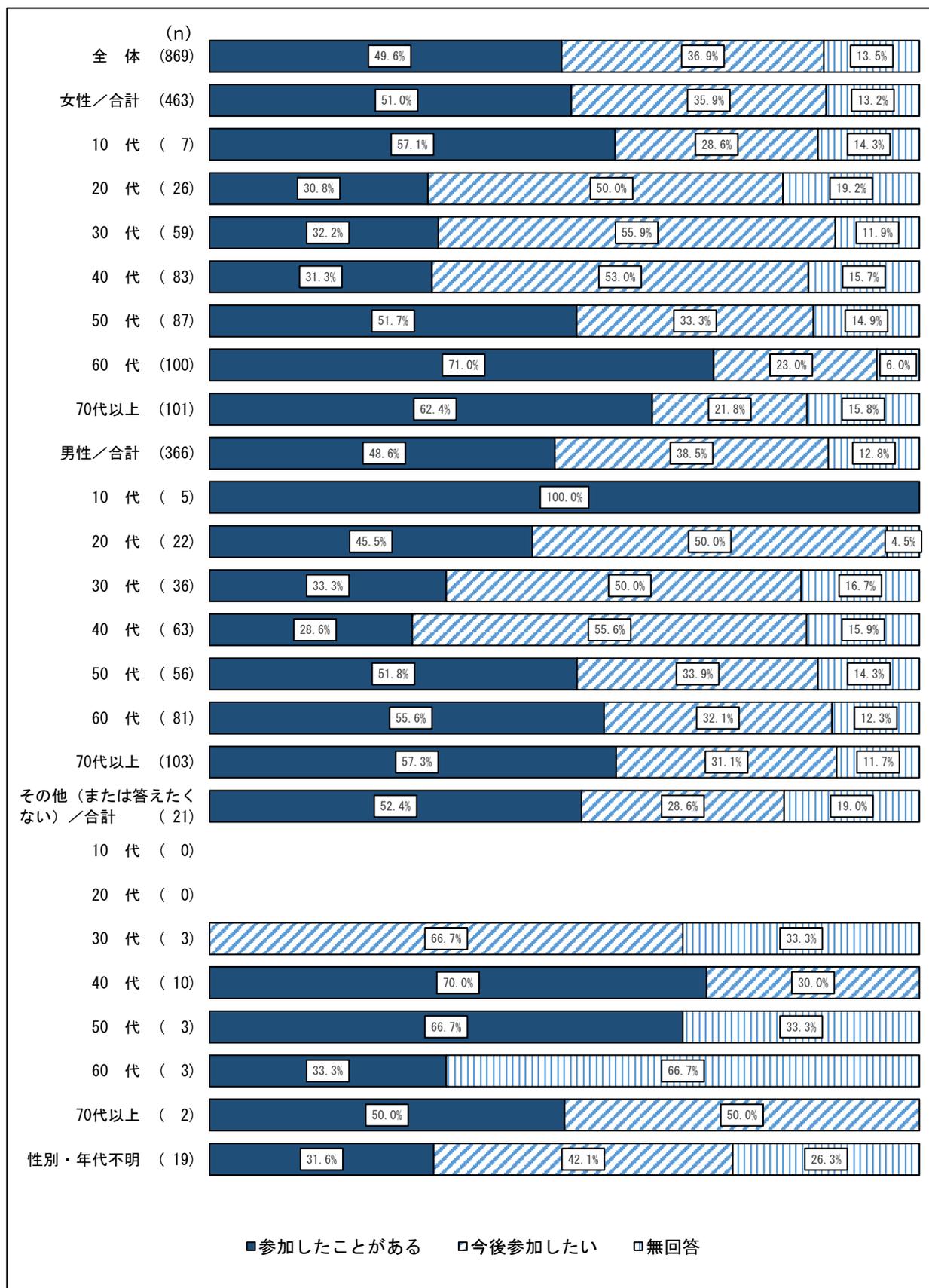
【性・年代別】④国際交流・協力



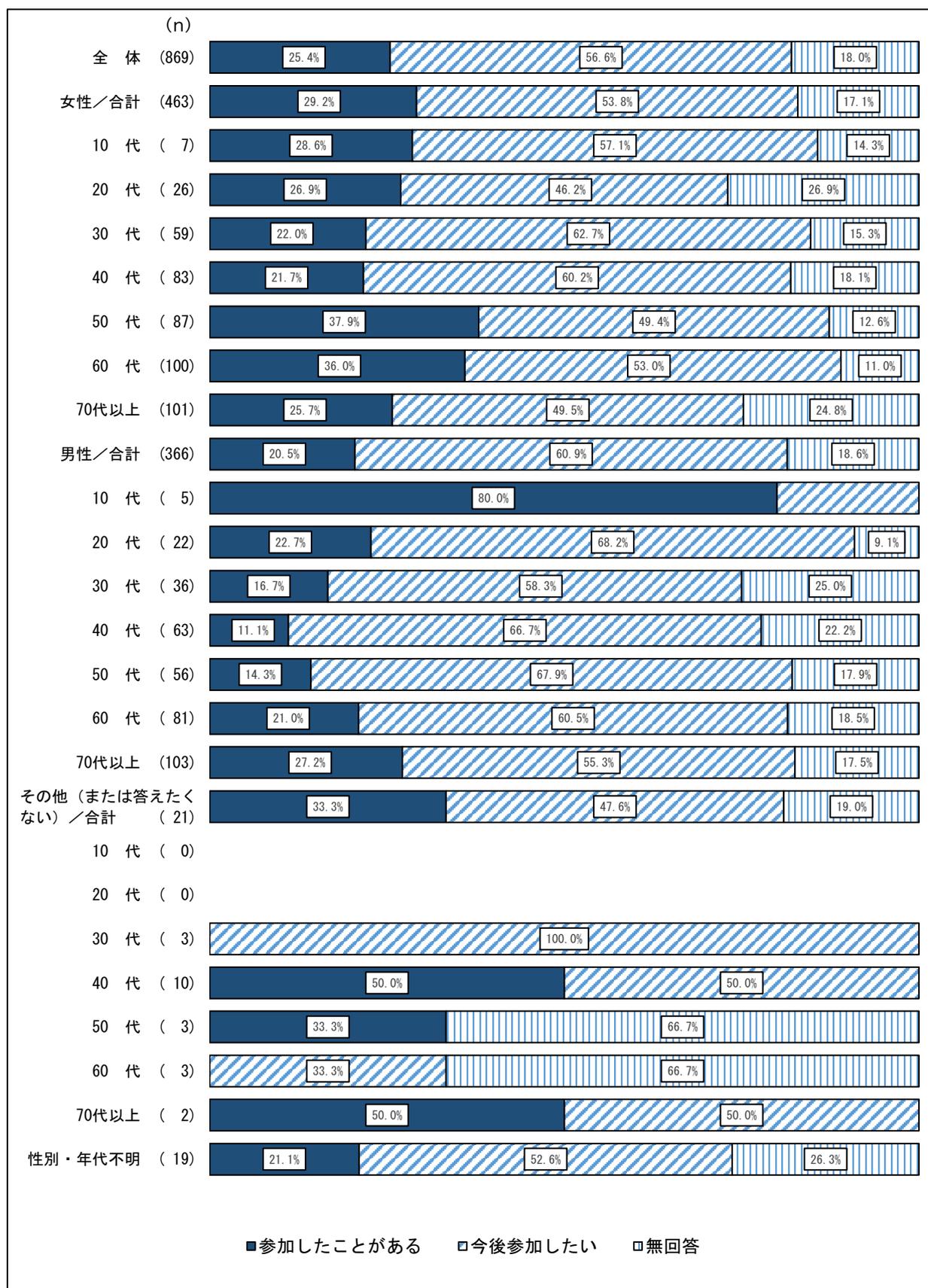
【性・年代別】⑤自主防災活動



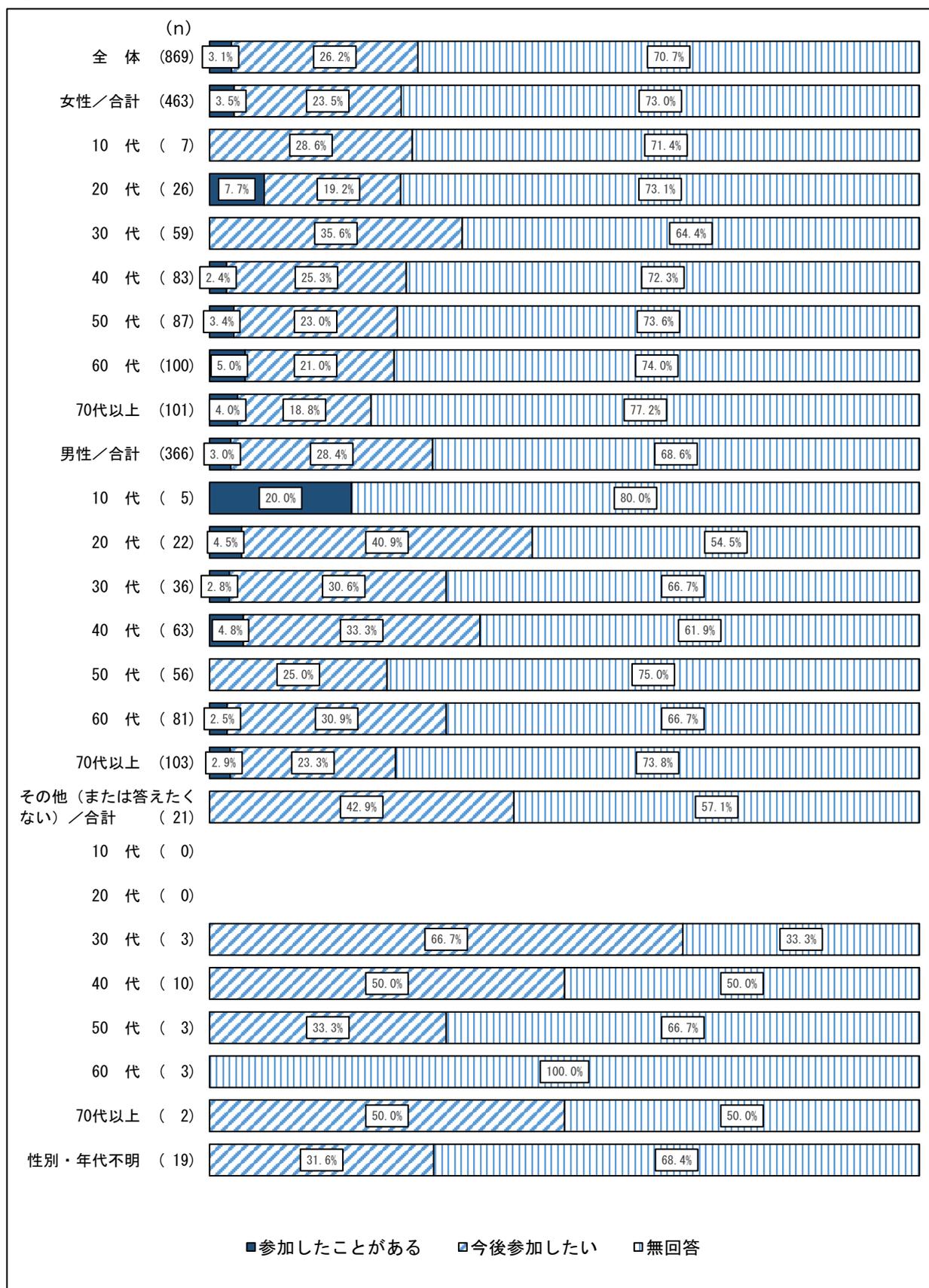
【性・年代別】⑥趣味・教養・スポーツ



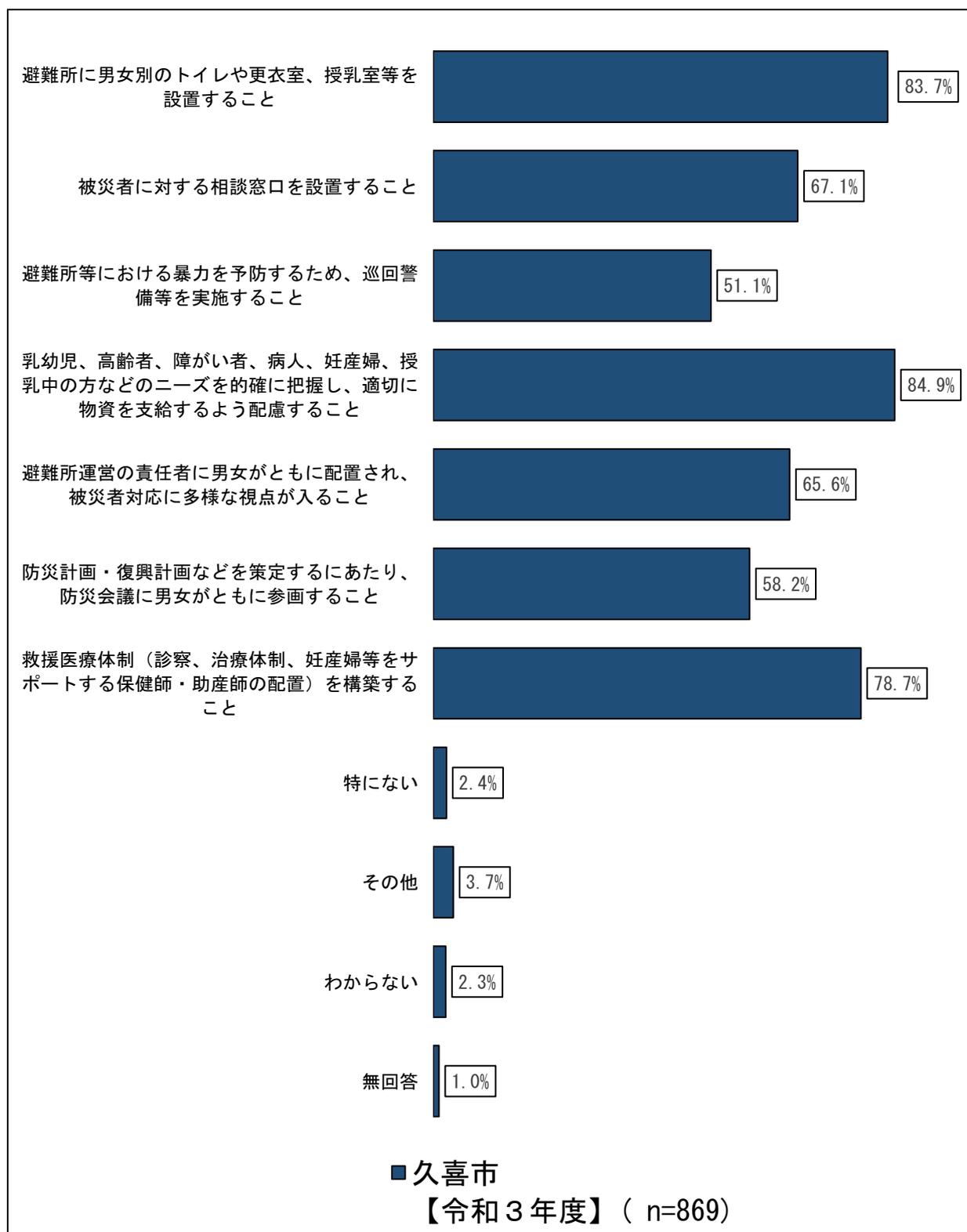
【性・年代別】⑦高齢者・子育て支援など福祉・ボランティア



【性・年代別】⑧その他



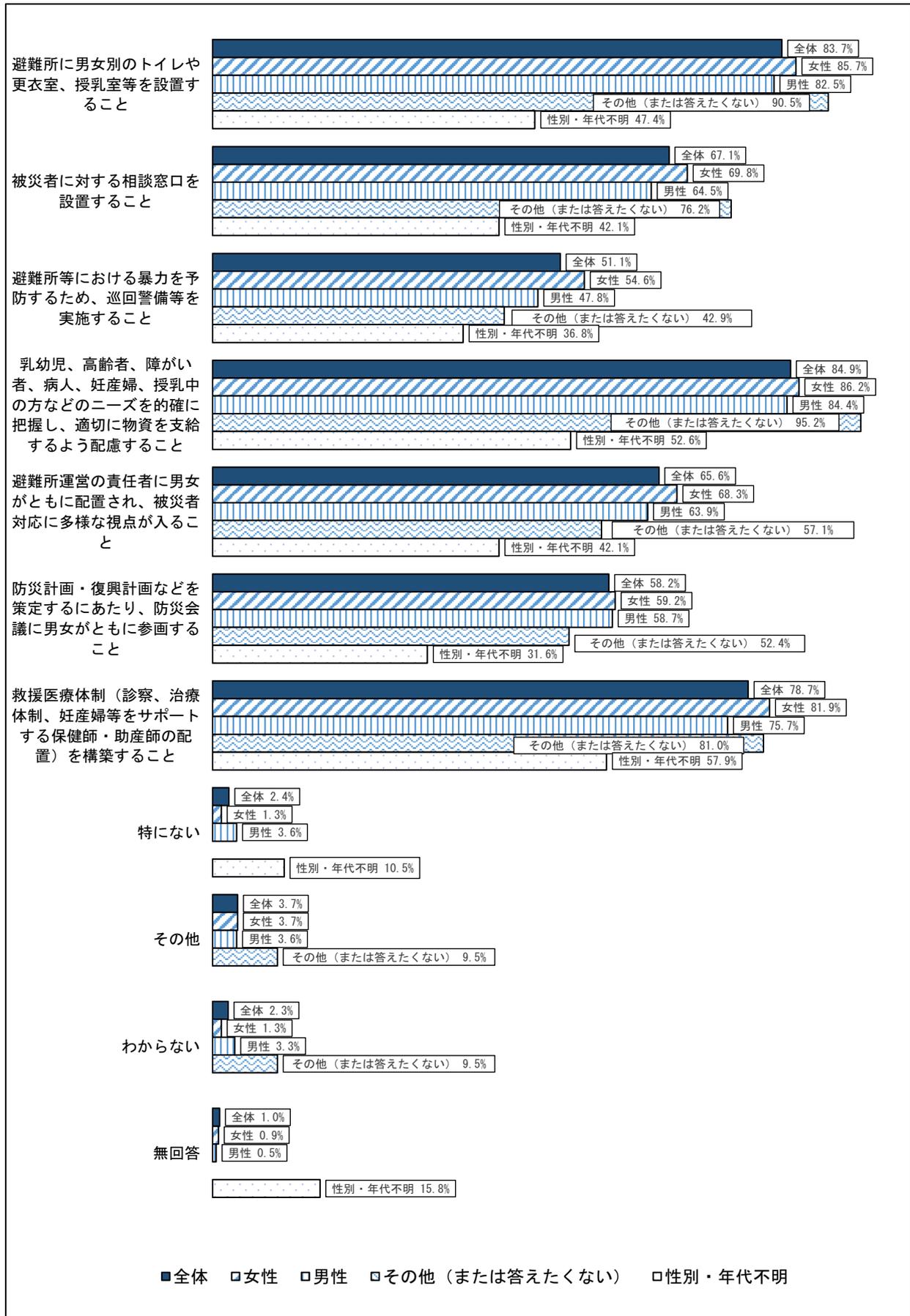
【全体】 n=869



その他の回答（記述分）

ペットの避難（6）、避難所のプライバシー確保（4）、男女だけでなく様々な立場の方が共に参画し、社会全体で取り組む（2）、感染症対策（2）、防災無線を聞こえやすくする（2）、適切な避難所の設置（2）

【性別】



男女の就業・仕事について

問9 あなたは、女性が職業をもつことについてどうお考えですか。（1つだけ選択）

1. 仕事を持ち、結婚や出産に関わらず続ける方がよい
2. 子育ての時期は仕事を辞め、大きくなったら再び仕事を持つ方がよい
3. 仕事を持ち、子どもができたら家事や子育てに専念する方がよい
4. 仕事を持ち、結婚後は家事に専念する方がよい
5. 仕事は持たない方がよい
6. その他()
7. わからない

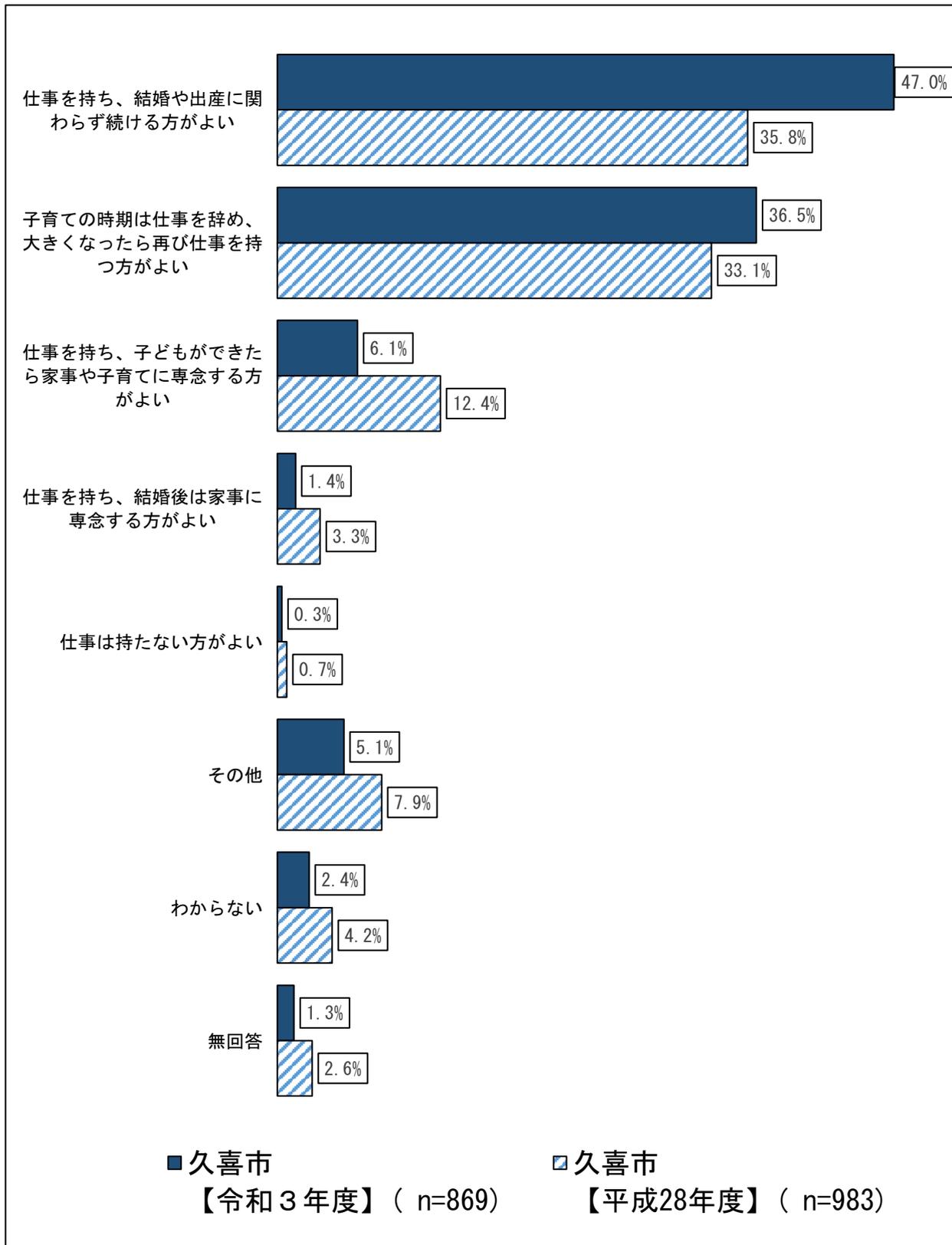
「仕事を持ち、結婚や出産に関わらず続ける方がよい」が、最も多い

全体では、「仕事を持ち、結婚や出産に関わらず続ける方がよい」が47.0%と最も多く、次いで「子育ての時期は仕事を辞め、大きくなったら再び仕事を持つ方がよい」が36.5%の順となっています。

性・年代別で見ると、女性の10代、70代以上、男性の20代、70代以上、その他の60代では、「子育ての時期は仕事を辞め、大きくなったら再び仕事を持つ方がよい」が最も多く、それ以外では「仕事を持ち、結婚や出産に関わらず続ける方がよい」が最も多い回答となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体での最も多い回答は「仕事を持ち、結婚や出産に関わらず続ける方がよい」で同じですが11.2ポイント増加しています。また「仕事を持ち、子どもができたら家事や子育てに専念する方がよい」は、全体では6.3ポイント減少しています。

【全体・経年比較】



その他の回答（記述分）

個人の意思によって、自由に選択できるのがよい（8）、家庭にとって良い選択肢を選ぶとよい（5）、産休・育休制度があたりまえの環境（3）、ライフスタイルに合わせて、仕事を持ったり、家庭に入ったり、柔軟に対応するのがよい（2）

【性・年代別】

